



# 四国電友会50年の歩み



電友会四国地方本部



## 四国電友会 創立50周年記念号

### 目次

■「四国電友会50年の歩み」発行にあたって .....	2
■四国電友会創立50年に寄せて .....	3
■歴代会長 .....	6
■歴代四国通信局長等 .....	7
■四国電友会の歩みと NTT グループの動き .....	10
■「四国の電話創業100年」記念式典 .....	14
■四国電友会会報表紙 .....	16
■総会模様 .....	21
■地域交流会 .....	22
■趣味の作品展 .....	23
■親睦旅行 .....	24
■サークル .....	26
■ボランティア活動 .....	34
■県別会員数 .....	42
■会員からのメッセージ .....	43

## 「四国電友会50年の歩み」発行にあたって



「四国電友会50年の歩み」の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まずはNTT及びNTTグループ各社及び関係会社の皆様におかれましてはこれまで多大なるご支援を頂き深く感謝申し上げます。

会員の皆様には平素より電友会の活動に対し、ご理解とご協力を頂き、心から御礼申し上げます。

この度「四国電友会50年の歩み」を発行するにあたり、四国電友会の顧問としてご指導・ご鞭撻を頂いていますNTT西日本四国支店長、NTT西日本香川支店長、NTT西日本徳島支店長、NTT西日本高知支店長、NTTドコモ四国支社長、テルウェル西日本四国支店長様から懇切なお祝いの言葉を頂き重ねて御礼申し上げます。

本記念号は、四国電友会の発足時（昭和46年）からの歴代会長の顔写真や昭和46年以降の電電公社時代における四国通信局長、NTT移行後の四国支社長、NTT東西分社後の四国事業本部長の写真、電友会とNTTの年表、会員の皆様から寄せられたメッセージ、これまでに発行した会報の中から選んだ表紙の挿絵や懐かしい写真等で構成していますので、昔を懐かしみ、知人・友人・先輩・後輩等を想うかべながら本誌を楽しんで頂ければ幸いです。

最後に、本誌に対してご投稿を頂いた四国電友会顧問の方々及び会員の皆様に感謝を申し上げるとともに、本年（令和3年）はコロナウイルスの猛威により日常生活にも影響を及ぼしていますので、皆様方には健康に十分留意してお過ごし下さるようお祈り申し上げますご挨拶とさせていただきます。

電友会四国地方本部  
第7代会長 小田尚見

## 四国電友会創立50年に寄せて



NTT西日本 四国支店長 立石 篤志

この度、四国電友会が記念すべき創立50周年を迎えられたことを心よりお喜び申し上げます。

四国電友会の50年という歴史と功績を築いてこられた電友会会員のみなさまのご精進、ご努力に対し、改めて敬意を表したいと存じます。

また、会員のみなさまには、日頃からNTTグループの事業活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、世の中は大きく、そして急速に変わりつつありますが、この変化を前向きに捉えながら、事業の成長と発展に向け引き続き取り組んでまいりまいる所存ですので、引き続き、ご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

四国電友会が50年をひとつの節目とし、新たな歴史と伝統を築いていかれますことを祈念いたすとともに、ますますのご発展とみなさま方のご多幸ご健勝を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



NTT西日本 香川支店長 北口 哲也

「四国電友会50周年」、誠におめでとうございます。電友会会員の皆様方に心からお祝い申し上げます。

この50年、NTTを取り巻く環境は大きく変化しました。メタルから光へ、固定から携帯へ、そして、今般のコロナ禍により、アナログからデジタルへの動きが加速しています。テレワーク、オンライン授業等通信インフラは必需品としての認識が高まり、高松市で唯一、光未整備エリアで

あった女木島・男木島についても、今年度、光基盤整備に着手しています。この通信インフラを武器に、来年度開催予定の瀬戸内国際芸術祭などの観光分野、遠隔医療、防災など、ICT活用による香川地域経済の活性化に貢献していきたいと考えております。

外部環境の変化に対し、NTTの事業運営体制も幾度となく見直しを行ってきました。本年7月には、四国事業本部（旧総支社）がなくなり、本社と支店の2階層の組織へと再編され、現場力強化のため、香川にも人員が増強されました。現在の拠点は、支店ビル・勅使ビルのみで、電友会の事務局があった高松北ビルを含め、その他の拠点については、利活用を推進しています。

今から約150年前の1876年（明治9年）、坂出市王越町に四国と本土を結ぶ海底通信線が施工陸揚げされ、その記念碑が今も残っています。長い歴史の中で、諸先輩方が脈々と築き上げてきた通信インフラ、顧客基盤、安心・安全のブランド力を守り、未来に向けて、香川支店が持続的に成長・発展していけるよう現役社員一同、頑張って参ります。引き続きのご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、四国電友会の更なるご発展と、会員の皆様、ご家族が健康で、心豊かな生活を送れますようお祈り申し上げます。



## NTT西日本 徳島支店長 佐々木保彰

「四国電友会50年の歩み」の発行にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

まずは四国電友会創立50周年おめでとうございます。「四国電友会50年の歩み」の発行に対し心からお祝いを申し上げます。また電友会会員の皆様には日頃からNTT事業に対し、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。この場をお借りし改めてお礼を申し上げます。

さて、NTT西日本は、西日本エリアの地域通信事業を担うべく1999年に発足しましたが、当初は大幅な赤字での船出でした。その後、アナログからデジタルへの転換、具体的には情報通信技術（ICT）を活用した光サービスやソリューションの提供を、諸先輩方のご尽力とご努力のおかげで拡大することができ、2020年度は分社後初の増収増益へと成長することができました。

現在、NTT西日本グループでは、お客様や地域社会の様々な課題をICTで解決し、地域の方々をもっと元気に、もっと幸せに、ビタミンのような存在になっていきたいというビジョンを持って事業活動に取り組んでいます。ここ徳島では、若者の県外流出による担い手不足という課題を、ICTを活用した人材マッチング・育成事業で解決し、地域産業の発展と、故郷で仕事と生活が両立できる仕組みづくりに、大学・経済団体・地場企業と連携してチャレンジしています。

今後も、諸先輩方が培ってきたDNAを継承し、『チーム徳島』一丸となって、「安全」と「健康」を第一に、「思い、思いやり、好奇心、いつも笑顔で、楽しくワクワク」、歩んでいきたいと考えています。引き続き電友会会員皆様のお力添いを賜りますようお願いいたします。

最後に、皆様の今後ますますのご健勝をお祈りしご挨拶とさせていただきます。



## NTT西日本 高知支店長 林 広行

「四国電友会50年の歩み」の発行に際しまして心よりお祝い申し上げますとともに、これまで活動を支えてこられた会員の皆様に深く敬意を表します。

会報誌などを通して伝わる諸先輩方のなつかしい思い出やご苦労されたこと、親睦活動や文化・スポーツ活動、社会貢献活動でのご活躍、グループ各社の事業運営にお寄せいただく大所高所からのご意見、そして現役社員への何よりも温かい心遣いは、私たちの大きな支えとなっております。

この度発行されます記念号は、電友会会員の皆様が半世紀にわたり積み重ねてこられた活動の記録としては勿論のこと、私たち現役社員や次代を担う社員も含め、世代を超えてチームNTTの心をつなぐ道標として役立っていくことと思います。

さて昨年度、NTT西日本グループは発足以来初めての増収増益を達成、高知支店においては光・IPサービスが10万契約を突破するなど、これまでの取り組みが実を結んだ年となりました。

今日の礎を築いて下さり、また退職後も多大なるご支援をいただいた電友会会員の皆様にあらためて感謝を申し上げます。

今後は、より多くのお客様に安心・快適なサービスをお届けできるよう、これまでの取り組みを強化するとともに、激甚化する災害やパンデミック等への備えを着実に進めてまいります。

また、保有する設備や人材・ノウハウを活かした他企業様ビジネスのサポート、様々な情報通信技術の活用による地域課題の解決など地域の発展に貢献し、地域に愛され選ばれ続けるNTTグループを目指して取り組んでまいりたいと思います。

引き続き四国電友会会員の皆様のご指導、ご鞭撻をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

末筆ではございますが、四国電友会会員の皆様の益々のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



## NTTドコモ執行役員四国支社長 吉澤 啓介

四国電友会創立50周年を迎えるにあたり、一言、ご挨拶申し上げます。まずは、四国電友会創立50周年を迎えられましたことに対し、心からお祝い申し上げます。

また、電友会の皆様方には、日頃よりNTTグループの事業運営に関しまして、地域のお客様との橋渡し役として、ご支援、ご助力を賜り誠にありがとうございます。

あわせて、環境クリーン作戦などの社会貢献活動にも、多くの方々にご参加いただいております。多岐にわたるご支援に感謝しております。この場をお借りして、御礼申し上げます。

さて、ドコモについては、2021年度を『新しいドコモ』への挑戦の年」と位置付けて取り組んでおります。昨年のNTTによる完全子会社化を受けて、ドコモはモバイル中心から事業領域を拡大し、NTTグループとの連携強化により、自らを変革・進化してまいります。

また、先日ブランドスローガンを「あなたと世界を変えていく。」に一新いたしました。これは、イノベーションにより、新たな生活価値やライフスタイルを生み出し、社会を大きく変えていきたいという思いを表現しております。

これからもドコモが皆様の身近な存在として、多くの驚きや感動、快適さを提供していけるように取り組んでまいります。

四国電友会会員の皆様におかれましては、どうぞこれからも引き続き、ご支援のほど宜しくお願いいたします。

四国電友会の更なるご発展と、会員の皆様およびご家族様の益々のご多幸とご健勝を祈念してご挨拶とさせていただきます。



## テルウェル西日本 取締役 四国支店長 椀田 收重

四国電友会が創立50周年を迎えられるにあたり、心よりお祝い申し上げます。

また、電友会会員の皆様方には、日頃から弊社の事業に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

テルウェル西日本株式会社もお陰様を持ちまして、今年、設立20周年、節目の年を迎えることができました。

NTTグループからの受託事業が毎年減少していく中、清掃・設備管理等ビル関連業務だけでなく、周辺業務もまるごとサポートする「ビル・オフィスまるごとビジネス」の展開を軸に、新たなステージに向かって飛躍するために全社員一丸となって取り組んで参ります。

電友会は、長きにわたり、NTTグループのOB・OGの皆様方が生き甲斐を持って、健康で充実したシニアライフを送れるよう、様々な取組みを通してサポートを続けてこられました。その功績に対しまして、あらためて敬意を表したいと存じます。

そして、その歩みは諸先輩方が築き上げてこられた伝統を礎に、未来へと引き継がれていくものと確信いたしております。

私共も微力ながら、貴会の活動にお力添えできましたら幸いです。

今後とも、弊社の事業にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

## 歴代会長



第1代 泉 節太郎  
昭和46年～昭和61年



第2代 赤刎 正  
昭和61年～平成1年



第3代 六車 美一  
平成1年～平成8年



第4代 西本壽恵一  
平成8年～平成13年



第5代 芳野 運  
平成13年～平成18年



第6代 栗田 和夫  
平成18年～平成26年



第7代 小田 尚見  
平成26年～

## 歴代四国通信局長等 (敬称略)



古市 米雄

昭和45年～昭和47年  
日本電信電話公社 四国電気通信局長



今村 徳輔

昭和47年～昭和49年  
日本電信電話公社 四国電気通信局長



鈴木 清

昭和49年～昭和50年  
日本電信電話公社 四国電気通信局長



原田阿久利

昭和50年～昭和51年  
日本電信電話公社 四国電気通信局長



工藤理一郎

昭和52年～昭和53年  
日本電信電話公社 四国電気通信局長



藤田 史郎

昭和54年～昭和57年  
日本電信電話公社 四国電気通信局長



小川 伸夫

昭和58年～昭和60年  
日本電信電話公社 四国電気通信局長 / NTT 四国総支社長



貝淵 俊二

昭和60年～昭和63年  
NTT 四国総支社長



佐田 啓助

昭和63年～平成3年  
NTT 四国総支社長 / NTT 四国支社長



千葉 正人  
平成3年～平成6年  
NTT 四国支社長



吉岡 正紀  
平成6年～平成9年  
NTT 四国支社長



藤原 勝彦  
平成9年～平成13年  
NTT 四国支社長 / NTT 西日本愛媛支店長



伊藤 卓志  
平成13年～平成15年  
NTT 西日本愛媛支店長



三村 尚史  
平成15年～平成18年  
NTT 西日本愛媛支店長



酒井 紀雄  
平成18年～平成21年  
NTT 西日本四国事業本部長兼愛媛支店長  
NTT 西日本-四国㈱代表取締役社長



山本 博敏  
平成21年～平成23年  
NTT 西日本四国事業本部長兼愛媛支店長  
NTT 西日本-四国㈱代表取締役社長



清水 哲司  
平成23年～平成25年  
NTT 西日本四国事業本部長兼愛媛支店長  
NTT 西日本-四国㈱代表取締役社長



大橋 大樹  
平成25年～平成27年  
NTT 西日本四国事業本部長兼愛媛支店長  
NTT 西日本-四国㈱代表取締役社長



三ッ矢高章

平成27年～平成29年  
NTT 西日本四国事業本部長



伊藤 謙一

平成29年～令和1年  
NTT 西日本四国事業本部長



前田 克哉

令和1年～令和3年  
NTT 西日本四国事業本部長



立石 篤志

令和3年～  
NTT 西日本四国事業本部長 / NTT 西日本四国支店長

## 四国電友会の歩みと NTT グループの動き

	四国電友会の歩み	NTT グループの動き
昭和46年 (1971)	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国電友会報第1号発行</li> <li>初代会長：泉 節太郎氏</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国の電話50万加入突破（全国の電話積滞数291万）</li> </ul>
昭和47年 (1972)	<ul style="list-style-type: none"> <li>電友会四国連合会第1回総会を開催（松山）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電電公社発足20年</li> <li>ホームテレホン販売開始</li> <li>硬式野球場を山越から重信に移転</li> </ul>
昭和48年 (1973)	<ul style="list-style-type: none"> <li>会報第5号から題字を「電友会四国連合会会報」に統一</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話ファクスサービス開始</li> </ul>
昭和49年 (1974)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2月に電友会四国連合会と愛媛電友会の事務局を、電気通信 会館から松山市一番町の通信局付属庁舎3階に移転</li> </ul>	
昭和50年 (1975)	<ul style="list-style-type: none"> <li>会報第10号発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国の電話100万加入突破（公社発足時54,000加入）</li> </ul>
昭和51年 (1976)	<ul style="list-style-type: none"> <li>電友会四国第5回総会を開催（高松）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>松山にプッシュ式公衆電話第1号設置</li> </ul>
昭和52年 (1977)	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国の会員数1,000名突破</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国の加入電話120万（全国3,400万）</li> </ul>
昭和53年 (1978)		<ul style="list-style-type: none"> <li>四国の電話ダイヤル化100%達成</li> <li>長年の懸案であった加入電話の積滞解消</li> </ul>
昭和54年 (1979)	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信局ビル付属棟に「電電 OB 談話室」オープン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国の電話ダイヤル自動化100%完了を記念し、四国の電信電話発展の礎となり職務に殉じられた方々の功績を後世に伝えるため、通信局に「慰霊の碑」を建立</li> </ul>
昭和55年 (1980)	<ul style="list-style-type: none"> <li>会報第30号発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国に100円公衆電話（赤電話）登場</li> </ul>
昭和56年 (1981)	<ul style="list-style-type: none"> <li>松山に退職者談話室「ともがき荘」オープン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国のポケットベル40,000加入突破</li> </ul>
昭和57年 (1982)	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国の会員数1,529名（昭和生まれは10.4%）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電電公社発足30周年</li> <li>加入電話 四国140万（全国4,000万）</li> <li>高松逡信病院、松山逡信病院を一般開放</li> </ul>
昭和58年 (1983)		<ul style="list-style-type: none"> <li>松山～高松間で、四国初の光ファイバーケーブル建設工事を開始</li> <li>カード公衆電話の設置始まる</li> </ul>
昭和59年 (1984)	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国の会員数2,000名突破</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>松山、高松地区で自動車電話サービス開始</li> <li>電電改革3法案が国会で可決、成立</li> </ul>
昭和60年 (1985)	<ul style="list-style-type: none"> <li>会報第50号発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本電信電話株式会社発足</li> <li>NTT 最初の子会社 NTT リース(株)発足</li> </ul>
昭和61年 (1986)	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤兎 正氏が第二代会長に就任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国初の子会社、(株) NTT パステル誕生</li> <li>四国の自動車電話1,000台突破</li> </ul>
昭和62年 (1987)		<ul style="list-style-type: none"> <li>NTT オートリース(株)、四国支店を開設</li> <li>NTT 四国テレコンサービス(株)を設立</li> </ul>
昭和63年 (1988)	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国の会員数3,000名突破</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(株) NTT テレコムエンジニアリング四国を設立</li> </ul>

	四国電友会の歩み	NTTグループの動き
昭和64年 平成元年 (1989)	<ul style="list-style-type: none"> <li>六車 美一氏が第三代会長に就任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支社を廃止し、本社－四国支社－電話局等の3段階組織とするとともに、電話局等を支店又は営業所と改称</li> <li>NTT リース(株)四国支店を開設</li> <li>NTT アセットプランニング四国(株)を設立</li> <li>NTT 松山支店に電話料金自動収納機(ATM) 設置</li> </ul>
平成2年 (1990)	<ul style="list-style-type: none"> <li>電退連を改組して新生「電友会」発足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月に1支社13PU(支店)体制及びタスク化完了</li> <li>番号案内有料化</li> </ul>
平成3年 (1991)	<ul style="list-style-type: none"> <li>松山、高松、徳島、高知にOBサロンオープン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(株)NTT ファシリティーズを設立</li> <li>NTT 四国移動通信網(株)を設立</li> </ul>
平成4年 (1992)	<ul style="list-style-type: none"> <li>電友会四国連合会を「電友会四国地方本部」と改称</li> <li>会報第79号から題字を「四国電友会会報」に変更</li> <li>四国の会員数3,500名突破</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国ネットワークセンタ発足</li> </ul>
平成5年 (1993)	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国地方本部総会代議員を40名から50名に増員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テルウェル愛松園オープン</li> <li>深夜、早朝の割引率拡大</li> <li>公衆電話料金の改定</li> </ul>
平成6年 (1994)		<ul style="list-style-type: none"> <li>四国の営業窓口を35カ所に統合・再編</li> </ul>
平成7年 (1995)	<ul style="list-style-type: none"> <li>阪神、淡路大震災による被災地支援(関西地方本部)へお見舞いとして501,000円を支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>会員の被災状況は死傷者13名、家屋の全半壊377件</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月17日、淡路島北東部を震源とする巨大地震が発生、交換機の電源故障等により神戸地域では28万5千回線が不通となる。</li> <li>四国支社1県1GPU化</li> <li>4県庁所在地でPHSサービス開始</li> </ul>
平成8年 (1996)	<ul style="list-style-type: none"> <li>西本 寿恵一氏が第四代会長に就任</li> <li>四国の会員数4,000名突破</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気通信審議会が長距離通信事業の分離、地域通信事業の東西分離を答申</li> <li>NTTが純粋持ち株会社による再編成案を了承</li> </ul>
平成9年 (1997)	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国電友会報100号を発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国でのOCNサービス本格スタート</li> </ul>
平成10年 (1998)	<ul style="list-style-type: none"> <li>マルチメディア普及研修会の実施</li> <li>会員名簿のデータベース化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国ネットワーク運営センタ発足</li> </ul>
平成11年 (1999)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本電信電話公社採用職員に対する叙位、叙勲の適用開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月1日、西日本電信電話(株)発足</li> <li>NTT 四国硬式野球部解散</li> </ul>
平成12年 (2000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>NTTOB ネット四国開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NTT 営業窓口閉鎖</li> <li>NTT 西日本エリアのINS ネット回線300万突破</li> </ul>
平成13年 (2001)	<ul style="list-style-type: none"> <li>芳野 運氏が第五代会長に就任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テルウェル西日本(株)設立(電気通信共済会より収益事業を継承)</li> <li>優先接続制度「マイラインプラス」スタート</li> <li>「フレッツ ADSL」松山市でサービス開始</li> <li>Lモードサービス開始</li> </ul>

	四国電友会の歩み	NTTグループの動き
平成14年 (2002)	<ul style="list-style-type: none"> <li>徳島支部が「会員増強モデル支部」に選出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NTT 構造改革の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>新会社3社設立 <ol style="list-style-type: none"> <li>① NTT マーケティングアクト四国 (営業系)</li> <li>② NTT ネオメイト四国 (設備系)</li> <li>③ NTT ビジネスアソシエ四国 (総務系)</li> </ol> </li> </ul> </li> <li>「電信電話記念日」祝賀会廃止</li> </ul>
平成15年 (2003)	<ul style="list-style-type: none"> <li>会員名簿発行 (発行周期を毎年から2年毎に変更)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NTT プラザ松山、高松、高知を廃止</li> </ul>
平成16年 (2004)	<ul style="list-style-type: none"> <li>年金相談窓口を電友会本部に設置</li> <li>中越地震に対する災害支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テルウェルグループホームサルビア開設</li> <li>「B フレッツ」四国エリアで2万回線突破</li> </ul>
平成17年 (2005)	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛媛電友会第1回「趣味の作品展」開催</li> <li>会員名簿発行 (発行周期を2年毎から3年毎に変更)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NTT 西日本愛媛支店を NTT 西日本四国支店に変更</li> <li>NTT 喜寿祝い金の廃止</li> </ul>
平成18年 (2006)	<ul style="list-style-type: none"> <li>栗田 和夫氏が第六代会長に就任</li> <li>個人情報保護法の施行 (H17.4) に伴い電友会四国地方本部個人情報の取り扱いについて制定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NTT 西日本四国事業本部発足</li> <li>(株) NTT 西日本-四国発足</li> </ul>
平成19年 (2007)		<ul style="list-style-type: none"> <li>(株) NTT 西日本-四国アイティメイト設立</li> <li>大都市以外で初、松山で「NTT 西日本グループ KAIZEN 推進大会・マイスターズカップ」を開催</li> </ul>
平成20年 (2008)	<ul style="list-style-type: none"> <li>会員拡大の取り組みとして、NTT 退職者説明会における電友会の概要説明</li> <li>会員名簿発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国の電話創業百年記念式典開催</li> <li>NTT 西日本-ホームテクノ四国発足</li> <li>徳島、鹿児島で NTT 西日本加入権センタの運用開始</li> </ul>
平成21年 (2009)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地球温暖化防止活動」へ取り組むことを決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代ネットワーク (NGN) サービス開始</li> </ul>
平成22年 (2010)	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年連続会員数純増</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話対応コンクール全国大会を松山で開催</li> </ul>
平成23年 (2011)	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災における電友会の被災者へのお見舞いとして、1,826,100円を支援</li> <li>愛媛電友会50周年記念行事として、第4回「趣味の作品展」開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月11日東日本大震災発生、東北地方太平洋沖でマグニチュード9.0の大地震発生 <ul style="list-style-type: none"> <li>固定電話約150万回線、携帯電話約67万台のサービスに影響</li> </ul> </li> </ul>
平成24年 (2012)	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国電友会創立40周年を記念し記念誌を発行</li> <li>香川、徳島、高知電友会創立50周年を記念し、趣味の作品展開催</li> <li>第5回愛媛電友会趣味の作品展開催</li> <li>会報のカラー化</li> <li>会報に長寿番付を掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域の NTT-ホームテクノ社8社を統合</li> <li>NTT 西日本6ブロック業績評価で四国が4年連続1位を獲得し、ベストアワード2012を受賞</li> </ul>
平成25年 (2013)	<ul style="list-style-type: none"> <li>NTT 愛媛支店本棟ロビーに趣味の作品展コーナーを開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域事業本部を中心としたカンパニー単位でのグループ経営」による新体制が発足</li> <li>NTT フィールドテクノ社発足</li> <li>NTT ビジネスソリューションズ社発足</li> <li>NTT 西日本ビジネスフロント社発足</li> </ul>

	四国電友会の歩み	NTT グループの動き
平成26年 (2014)	<ul style="list-style-type: none"> <li>小田 尚見氏が第七代会長に就任</li> <li>第2回徳島電友会趣味の作品展開催</li> <li>第1回四国女性会議開催</li> <li>第6回愛媛電友会趣味の作品展開催</li> <li>第2回香川電友会趣味の作品展開催</li> <li>会員名簿発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「光コラボレーションモデル」の提供開始</li> <li>ドコモエンジニアリング四国㈱とドコモサービス四国㈱が合併し、「株式会社ドコモ CS 四国」設立</li> <li>「D70デジタル交換機」から「新ノード交換機」への更改完了</li> </ul>
平成27年 (2015)	<ul style="list-style-type: none"> <li>会報へ各県イベント情報を掲載</li> <li>熊本地震被災に対し550,000円の見舞金</li> <li>オリーブ高松メディカルクリニックの通院ドック割引施策開始</li> </ul>	
平成28年 (2016)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第45回総会開催</li> <li>愛媛、香川、徳島、高知、第55回総会開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国カンパニー初の黒字化達成（営業利益：10億円）</li> <li>NTT 三番町ビル、宮西ビル閉所</li> <li>NTT 西日本高松診療所からオリーブ高松メディカルクリニックへ</li> </ul>
平成29年 (2017)	<ul style="list-style-type: none"> <li>会員名簿発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NTT 一番町ビル敷地内に企業型保育所「ゆめみいよ保育園」開設</li> </ul>
平成30年 (2018)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年7月豪雨による被災された会員に対し見舞金贈呈（四国は負傷者はなし、住宅被害5件）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国の「光」契約者数 534,697（愛媛：194,499、香川：155,638、徳島88,055、高知：96,505）</li> <li>7月豪雨により NTT 八多喜ビル、伊予森山ビルが浸水し通信サービスに影響</li> <li>新 NTT 三番町ビル開設</li> </ul>
平成31年 令和元年 (2019)		<ul style="list-style-type: none"> <li>四国の「光」契約者数 544,497（愛媛：199,661、香川：158,136、徳島88,787、高知：97,913）</li> <li>四国エリアにて第5世代移動通信方式を用いた通信サービスを提供開始</li> </ul>
令和2年 (2020)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスまん延により総会、懇親会、レク、会議等の集合での行事は自粛</li> <li>第49回総会（書面による開催）</li> <li>会員名簿（2020年版）発行</li> <li>NTT 西日本からの会報発行等への支援増</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国の「光」契約者数 565,419（愛媛：208,719、香川：164,009、徳島91,125、高知：102,106）</li> <li>四国初の増収増益</li> <li>NTT ドコモ上場廃止、日本電信電話株式会社の完全子会社</li> <li>年度末で NTT 社有社宅、寮を廃止</li> </ul>
令和3年 (2021)	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度に続き新型コロナウイルスまん延により行事自粛が継続</li> <li>第50回総会（書面による開催）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NTT 西日本業務運営体制見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>四国事業本部を廃止し、四国支店・香川支店・徳島支店・高知支店となる。</li> <li>営業系会社（NTT ビジネスソリューションズ、NTT ビジネスフロント）</li> <li>設備系会社（NTT フィールドテクノ）</li> <li>NTT ネオメイトは NTT フィールドテクノと合併</li> <li>NTT 西日本ビジネスアソシエは四国内組織を廃止</li> </ul> </li> <li>NTT 西日本松山病院を事業譲渡</li> </ul>

# 「四国の電話創業100年」記念式典

## NTTグループの動き

### 「四国の電話創業百年」記念式典を開催

— 三月二十六日松山で —

昨年（平成十九年）二月に酒井社長が手にとった一冊の冊子に書かれていた一文に、「明治四十年二月二十一日、四国ではじめて高松において電話交換が開始・・・」、一年あまりにわたる「電話創業百年」記念事業はここから始まりました。

昭和五十五年に埋められた「タイムカプセル」搜索から発掘、更に未来に引き継ごうと作成した新たなタイムカプセルと、あわせて実施した市民参画の「未来に残したいモノ大募集」、四国をあげての集大成とも言える大イベント「四国の電話創業百年」記念式典が、松山で電話交換が開始されてちょうど百年目の三月二十六日、市内のホテルで盛大に開催されました。

この一年を通じて、電話の歴史を振り返ると、当時の人々にとって摩訶不思議な存在だった電話が、技術革新と共に進化し、生活になくてはならない存在となったこと、また、その発展史において、技術開発や普及に尽力してこられた方々の存在は決して忘れてはならないことを改めて知ることとなります。

記念式典において、酒井社長が「これまで百年、これから百年」をテーマに挨拶をしておりますので、ここに紹介いたします。



百年前、百人あまりのご利用から四国の電話の歴史が始まりました。この機会に、電話の歴史について少しお話ししたいと思います。

明治九年、グラハム・ベルによって発明された電話は、日本でも明治二十三年に東京・横浜間でそのサービスを開始しました。針金一本で通話につながる原理は、当時の人々には、摩訶不思議な存在であったようです。

電話が鳴ると、受話器を手を取らずひたすらお辞儀をする人、電柱に耳を当てて通話を聞こうとした人も珍しくはなく、電話を通じてコレラが伝染するといった話すら、まことしやかに語られていたようです。

東京から遅れること十八年、日清・日露の戦いを経て、ここ松山の地にも、明治四十一年三月二十六日、ちょうど今から百年前の本日、電話サービスは産声を上げた訳です。

その日の愛媛新報の一面は「ああ文明の利器の一なる電話は本日をもって備われり、市民諸君は、大いに奮起して、これを利用し、松山の発展を図らざるべからず」としめくくられています。

当時の日本人にとっては、電話は、既成概念をはるかに超える「文明の利器」で、そのカルチャー・ショックは大変なものだったと思います。

その後、人々が電話の利便性を理解し、その有益性がわかり始めると、急速に普及、発展していきます。この間、申し込んでもなかなかつかないという不便をおかけする時代もありましたが、一九七九年には、「すぐつく電話」、「すぐつながる電話」という念願の目標を達成しました。

この発展史においては、電話の交換方式が、磁石式から自動式へと進化、さらにはコンピュータ化されるなど、技術革新が急速に進んだことが大きな原動力となりました。

また、その光と影というならば、影の部分でどうしても見逃せないのが、第二次世界大戦による惨事です。日本の敗戦が濃厚となると、電話局も空爆のターゲットとなり、今治局では、作業中の交換手十名が殉職しました。

また、ロシア軍の侵攻を受けた樺太の真岡局では、砲弾が飛び交う中、疎開を拒んで職場を守り続けた若い女性九名全員が、「これが最後です。さようなら。」という声を残し自決したという痛ましい話も残っています。

今日の情報通信の発展、また、それがもたらしてくれる恩恵を考えると、使命感を燃やし、電話の技術開発や普及に尽力してこられた方々、尊い命を電話事業に捧げられた方々の存在は、決して忘れてはならないと思います。

さて、明治の電話の創業前、すでに電話事業の民営化議論がありました。日本の資本主義の父とも呼ぶべき渋沢栄一氏は、外国の

実態を踏まえ、民間活力の導入を主張しましたが、結局は、逓信省による官営事業となりました。

その後、第二次世界大戦で、壊滅状態となった電話の復旧を急ぐため、サンフランシスコ講話条約が結ばれた一九五一年、民間の経営手法を取り入れた公共企業体としてNTTの前身である日本電信電話公社が産声を上げることになりました。

高度経済成長下、電話は飛躍的な拡大を果たし、昭和五十年には松山でも十万加入を突破、それを記念してタイムカプセルが埋められたのもこの年でした。

その後、昭和六十年に電電公社が民営化され、NTTが誕生し、本格的な競争時代が幕をあけました。

渋沢氏らの民営化議論以後、実に百年目の出来事ですから、明治の先人達の慧眼には敬服せざるをえません。

四国は地形的にも中山間地が多く、その設備の維持にコストをかけながら、都市部における競争に対応し、次世代を睨んだ投資を行うことは、決して楽なことではありません。

しかしながら、官営から公社へ、そして、民間へと、事業主体が移り変わる、その節目を契機として、事業が大きく羽ばたいてきたことも、まぎれもない事実であります。

特に民営化後は、光ファイバーの拡大やデジタル技術の進化は目覚ましく、インターネットの爆発的な普及もあいまって、かつては想像もできなかったような新しいサービスが

次々と登場してきました。こうした流れを受け、平成十一年、NTTは東西会社などに分離編成されたわけです。

再編後のこのわずか十年で、今、大きな変化が訪れています。

百年かかってピーク時に二百万加入まで拡大した四国の電話は、その数を半減しつつあり、代わってブロードバンド通信や移動体通信が主役となりました。百年というスパンで見ると、驚くべき急速な変化と言わざるを得ません。

私共は、「四国の電話創業百年」のこの年、これまで築きあげてきた、歴史的な電話のネットワークを卒業し、インターネットの利便さと、従来の電話網の信頼性を兼ね備えた、光を中心とした新しい次世代ネットワーク（NGN）のサービスをスタートさせます。偶然とはいえ、まことに感慨深いものがあります。

これからも、お客様の立場に立った、使いやすい通信基盤の確立に努め、私共NTTに託された使命を全うしながら、「人にやさしい社会」の実現に貢献しなければなりません。それこそが、先人達が営々と築いてきた電話の歴史に、さらなる彩りを加え、未来にわたって電気通信をご利用戴く皆様にお応えする道であると考えております。

これまで百年、これから百年。今後とも引き続きご愛顧賜れることを祈念してご挨拶にかえさせていただきます。



NTT 愛媛支店玄関前の記念碑



四国電話誕生100年記念クリアファイル

# ❀❀❀ 四国電友会会報表紙 ❀❀❀



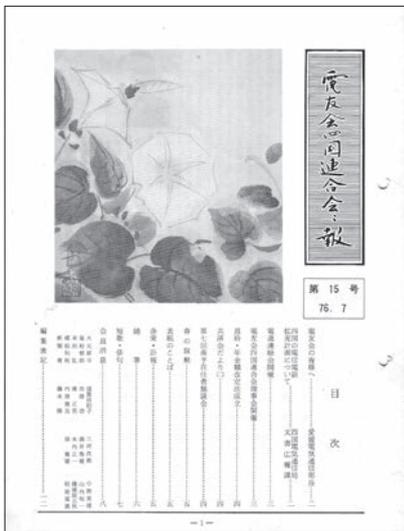
第2号 (昭和46.11発行)



第5号 (昭和48.1発行)



第10号 (昭和50.4発行)



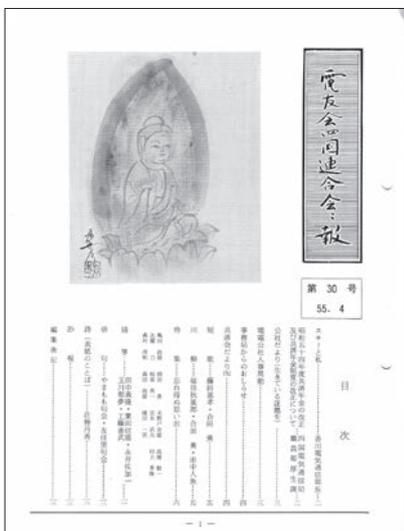
第15号 (昭和51.7発行)



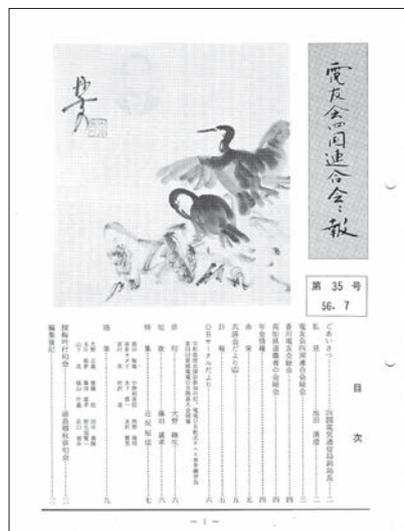
第20号 (昭和52.10発行)



第25号 (昭和54.1発行)



第30号 (昭和55.4発行)



第35号 (昭和56.7発行)



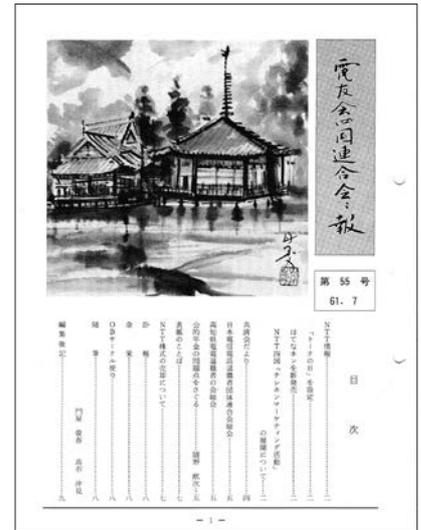
第40号 (昭和57.10発行)



第45号 (昭和59.1発行)



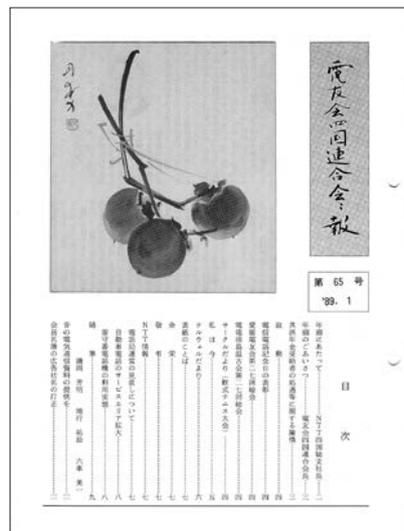
第50号 (昭和60.4発行)



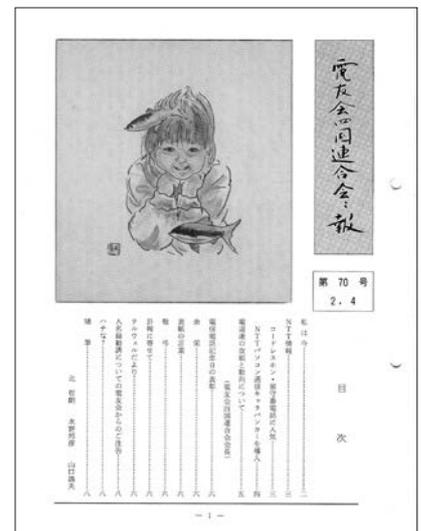
第55号 (昭和61.7発行)



第60号 (昭和62.10発行)



第65号 (昭和64.1発行)



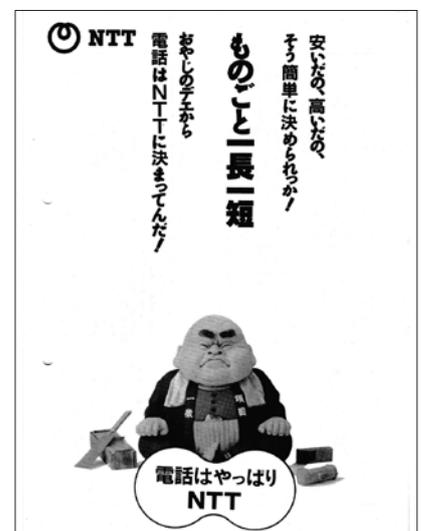
第70号 (平成2.4発行)



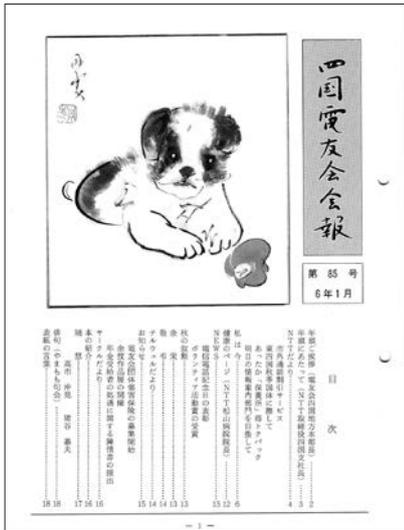
第75号 (平成3.7発行)



第80号 (平成4.10発行)



第83号 (平成5.7発行) 広告



第85号 (平成6.1発行)



第90号 (平成7.4発行)



第95号 (平成8.7発行)



第100号 (平成9.10発行)



第105号 (平成11.1発行)



第110号 (平成12.4発行)



第115号 (平成13.7発行)

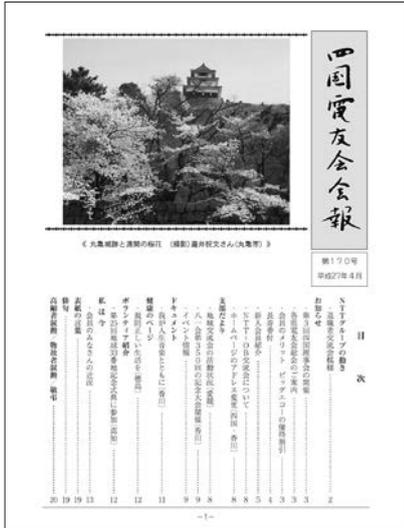


第120号 (平成14.10発行)

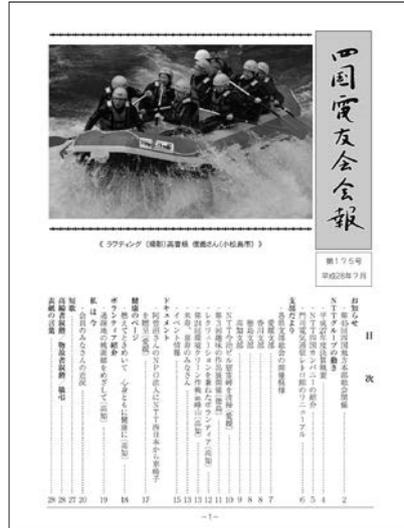


第125号 (平成16.1発行)

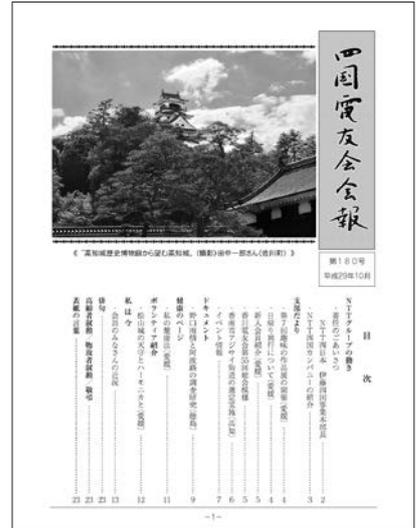




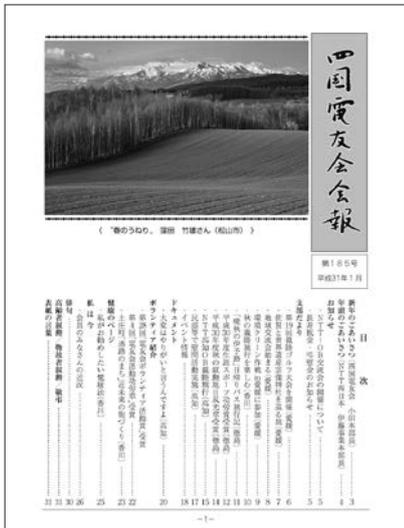
第170号（平成27.4発行）



第175号（平成28.7発行）



第180号（平成29.10発行）



第185号（平成31.1発行）



第190号（令和2.4発行）

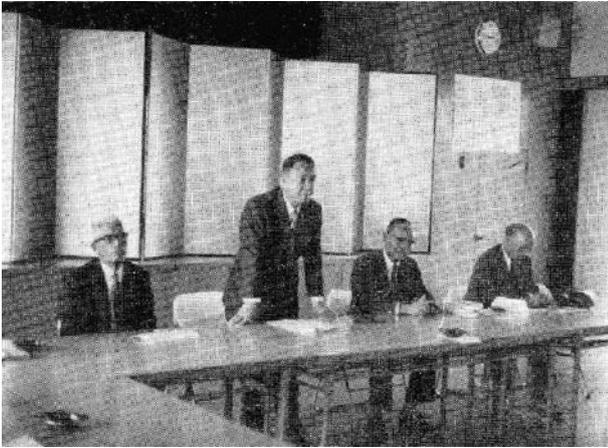


第195号（令和3.7発行）



四国電友会のあゆみ（平成24年7月発行）  
— 四国電友会創立40周年を記念して —

# 総会模様



四国地方本部第1回総会



四国地方本部



愛媛電友会



香川電友会



徳島電友会



高知電友会

# 地域交流会



宇和島・御荘交流会



大洲・八幡浜・宇和交流会



西条交流会



東温交流会

❦❦❦ 趣味の作品展 ❦❦❦



愛媛電友会



香川電友会



徳島電友会第4回趣味の作品展 平成30年3月9日～11日  
あわぎんホール3階 B展示室

徳島電友会



高知電友会

2012.02.29

親睦旅行



愛媛



H24.9.24 守礼門



H26.9.30 苅岐



日本を代表する山岳ルート 標高 1828m 立山・黒部平 立山黒部アルペンルート

H27.9.28 立山・黒部



香川



H27.1 おいしい昼食に舌鼓  
(WTC コスモホール48階)



H29.1 大和ミュージアム



H31.1 蒜山高原



# 徳島



H29.1 みろくの里



H31.1 日本食研宮殿工場



R2.1 大阪城



# 高知



H26.1 軍艦島



H28.1 会津鶴ヶ城



H29.1 伏見稲荷神社

# サークル



愛媛 (16サークル)



硬式テニスクラブ



ソフトテニスクラブ



写友会



囲碁同好会



カラオケサークル (すずめの学校)



社交ダンス愛好会 (年輪会)



話友会民謡部



勝謡会



日尾クラブ



新居浜岳風会



男の料理教室



ヨガサークル



歩こう会



ゲートボール



インターネット愛好会



将棋倶楽部



香川 (12サークル)



碁碁同好会



園芸クラブ



ふるさとを歩く会



亀友会ハイキンググループ



ハー会 (ゴルフ)



インターネット愛好会



ひうち会 (ハイキングクラブ)



絵手紙サークル



瀬戸内美術クラブ



NTTOB 香川琴同好会



華グループ同好会



吟詠サークルたまも



徳島 (8サークル)



NTTOB 徳島縁台クラブ



NTTOB 茶道部なごみ会



NTTOB 徳島健歩会



ゴルフクラブ80 (パーゼロ) 会



眉秋俳句会



釣りクラブ「えべっさん」



カラオケ愛好会ピーチクひばり会



NTTOB 徳島パソコン愛好会



高知 (9サークル)



民謡すみれ会



囲碁クラブ



シニアネットよさこい (パソコン)



さくら草 (洋裁)



ゴルフクラブ



ひまわり会 (ボウリング)



ふじの会 (茶道)



カラオケ



彭謡会

## ボランティア活動



愛媛



生き甲斐のボランティア グループホーム慰問  
竹田 廣見さん



湯築城足趾観光ボランティアガイド  
石井 丁文さん



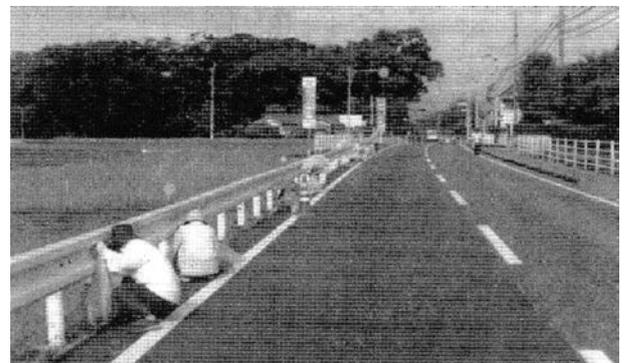
剣道で社会へ恩返し  
神中 静夫さん



チャリティーバザー  
NTTグループボランティア松山



木製ドラムを活用して地域交流  
木村 規義さん



住んでいる地域の道路を綺麗に  
田中 長憲さん



東北被災地での活動  
河田 修さん



絵本のよみきかせ  
萩森 和子さん



おもちゃ病院ドクター  
乗松 武明さん



今治空襲を児童に伝える授業  
水口 豊さん



愛犬チャコとの見守り活動  
尾崎 哲明さん



松山観光ボランティア  
井原 孝明さん



長浜町観光ボランティア  
山本 慧子さん



子供見守り隊と子供食堂を通じた地域支援活動  
福田 トミ子さん



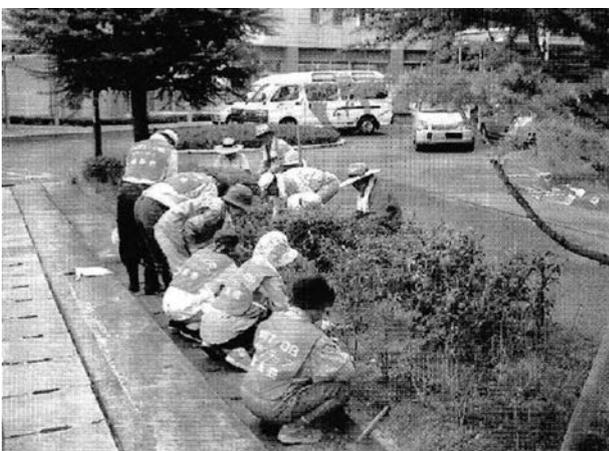
笑顔あふれるまちづくり  
吉岡 隆さん



健康日本一のまちづくりを目指して  
古河 恭一さん



香川



清掃  
NTT・OB 亀友会ボランティアグループ



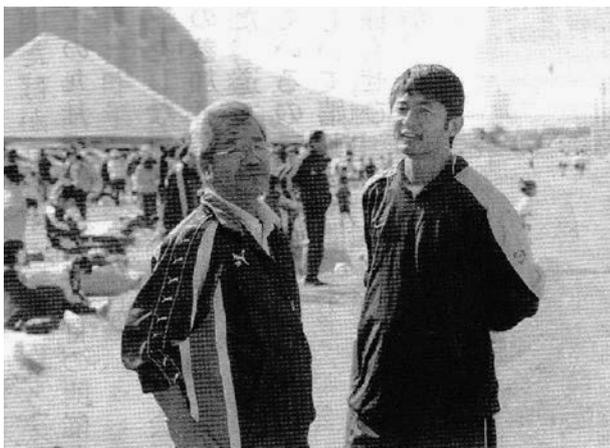
地域社会に奉仕  
西川 幸子さん



私のユネスコ活動  
須藤 宏三さん



マジックで訪問活動  
安倍 義晴さん



サッカーを通じたボランティア  
小野 純一さん



特老ホーム除草活動  
ボランティア NTT 高松 OB 会



高松市観光ボランティアガイド  
植松 信子さん



リフレッシュ「香ノ川」パートナーシップ活動  
大路 大幸さん



視覚障がい者用音訳テープ作成や読み聞かせ活動  
川田 操さん



環境クリーン作戦 in 峰山  
ボランティア NTT 高松 OB 会



徳島



海岸清掃  
ボランティア NTT 徳島 OB 会



福祉大会受付  
ボランティア NTT 美馬・三好 OB 会



車椅子贈呈  
ボランティア NTT 徳島 OB 会



日赤奉仕団員として  
川田 ユリ子さん



「アドプトプログラム吉野川」活動  
ボランティア NTT 徳島 OB 会



リスザルの森でガイド役  
安芸 忠義さん



施設訪問  
NTT 阿南 OB 会



健全な子供の育成  
藤井 利夫さん



公衆電話 BOX 清掃活動  
ボランティア NTT 徳島 OB 会



「山川町の文化財を守る会」活動  
藤井 吉伸さん



# 高知



清掃作業  
NTT 安芸 OB 会ボランティアグループ



慰問演奏  
ドコモ高知オールスターズ



環境ボランティア  
秦泉寺 昭雄さん



環境保護活動  
NTT 安芸 OB 会ボランティアグループ



小さなボランティアをコツコツと  
NTT 宿毛・大月 OB 会



放置された人工林の整備  
遠藤 博文さん



地域活性化のお手伝い  
黒岩 靖夫さん



あじさい街道の剪定  
ボランティア NTT 高知 OB 会



車椅子清掃  
ボランティア NTT 高知 OB 会

掲載させていただいたのは一部の方々であり、この他にも多くのグループ、  
会員の皆さんがボランティア活動を行っています。

# 県別会員数

(単位：人)

西暦	和暦	愛媛	香川	徳島	高知	計
1971年	昭和46年	230	154	113	122	619
1988年	昭和63年	1,291	769	455	531	3,046
2001年	平成13年	1,843	1,070	667	848	4,428
2019年	平成31年/令和元年	1,724	877	714	854	4,169

令和3年7月31日現在  
\*年齢は令和3年12月末  
(単位：人)

年代区分	愛媛			香川			徳島			高知			四国計			構成率
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
～59才	15	2	17	5	0	5	1	0	1	2	0	2	23	2	25	0.7%
60～64才	205	51	256	6	0	6	13	2	15	29	3	32	253	56	309	8.0%
65～69才	183	22	205	69	3	72	92	17	109	112	22	134	456	64	520	13.5%
70～74才	302	26	328	130	21	151	165	35	200	151	21	172	748	103	851	22.1%
75～79才	236	40	276	126	39	162	119	39	158	130	52	182	611	170	781	20.3%
80～84才	197	50	247	93	61	154	43	43	86	60	54	114	393	208	601	15.6%
85～89才	103	51	154	56	64	120	33	30	63	26	69	95	218	214	432	11.2%
90～94才	75	21	96	51	37	88	21	14	35	28	20	48	175	92	267	6.9%
95～99才	21	3	24	8	4	12	4	1	5	6	8	14	39	16	55	1.4%
100才～	2	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1	3	0.1%
計	1,339	266	1,605	544	230	771	491	181	672	544	249	793	2,918	926	3,844	



青木 敬三 (高知市 H26年退)

3年程前から競馬の馬券を買っています。ネットで買ってテレビで観戦です。重賞レースだけ購入で、宝くじを買っているような気分です。

思えば東京で勤務していた頃、職場に競馬が好きな先輩がいて、休みの日にはたまに東京競馬場や中山競馬場に連れて行ってくれました。パドックで馬の状態を見て、馬券を買いに行くのですが、私には馬の状態を見る目がないので、パドックは何の役にも立ちません。

最寄り駅から競馬場までバスで行くのですが、帰り道は競馬で負けたら歩きだと言われます。オケラ街道と呼ばれているその道を、バスで帰った記憶が有りません。



馬券は当たらなくても  
クオカードがたまに当たります

阿佐 政博 (松山市 H29年退)

四国電友会50周年おめでとうございます。私は退職して早や4年になります。今年還暦も迎えました。

このコロナ禍、還暦のお祝いも自宅でささやかにと思っておりましたら子供達からは、それぞれプレゼントを貰いました。今まで誕生日に貰うことなどなかったのが、改めて還暦を迎えたんだなあと思うと同時に、これからの人生をどう生きるべきかと考えさせられました。答えはまだありませんが、これからの日々を大切に生きていければと思います。

来年には、コロナが収まり盛大に還暦祝いができることと、電友会のますますの発展をお祈りいたします。

足達 裕昭 (香美市 H10年退)



赤岡局立て看板



赤岡電配4人衆

昭和40年1月24日 土佐山田、赤岡の自動改式時に電電公社入社、赤岡電報電話局に配属となりました。

懐かしい写真が残っていました。昭和41年9月29日に撮影したものと思われます。

局舎前の立て看板には「ダイヤル即時通話

無料サービスのお知らせ」＝9月25日から全国多数の都市へダイヤル即時通話ができることになります。これを記念して9月29日にダイヤル即時通話の無料サービスを行いますのでご遠慮なくご利用ください＝と書かれています。人物写真は当時の電報配達係四人衆です。(左から町法太郎さん・足達・前田三興さん・氏原功さん)

現在、4人とも高知電友会会員です。退職後も月1回の懇親会等で旧交を温めています。あれから56年。大勢の方々に本当にお世話になり、ありがとうございました。感謝の気持ちで一杯です。

#### 石井 丁文 (松山市 S59年退)

「年を取ると・・・」口を開けば口癖の第一声、90の波はアッという間に三つ飛び越したが、コロナのせいもあってか、最近急に気力が衰えた。何かがあっても一歩が出ない。「まあいいや」「何かのついでに」

気力回復の妙薬はOBサロンでの「気分転換」サロンのドアを開けると、少々の体調不良も、足腰の痛みもフツ飛ぶ。盤面をにらみ碁石を手にする、雑念は一掃時間の経つのも忘れる。すっきりした気分で帰宅、夕餉の話題も弾む。

しかしこのところ、コロナ、コロナでサロンはクルナ(ずっと休館)。

コロナに負けない気力(なんとか)、体力(自信なし)作りを。「ヤレバデキル」

#### 石川 巖 (今治市 H6年退)

80才を超えた今も「気が若い」と言われると何となく嬉しいものですが、ある日遂に山歩きの途中で尾根から沢に転落し頭を縫合することに、翌日から単独登山禁止です。

好きなことといえば、山歩き・ウォーキング・歴史探訪で、「四国八十八カ所歩き遍路」はすべてを体感させてくれるものでした。

14年前交通事故で入院、リハビリを機に48日間の遍路旅、四国百名山半分以上の踏破、しまなみ海道スリーデーマーチ9回参加等は充分体力回復に役立ちました。

しかしながら加齢とともに後遺症や新たな

病気には勝てず、歩くのは2kmの散歩程度、NPO活動は3月リタイア、介護支援ボランティアは残念ながらコロナ禍で任を果たせていません。



しまなみ海道スリーデーマーチ参加

#### 石津 博士 (松山市 H16年退)

電友会50周年おめでとうございます。半世紀にわたり会の発展に貢献されました先人方に敬意を表します。

50年前そうか、私が電電公社に就社が決まり伊予報話局の電報配達に配属された年だ！懐かしいとの思い。当時は固定電話設置の積滞解消が求められていた時代で、電報はまだまだ社会の連絡手段として重宝されていました。大学の入学発表時の親元に知らせる“サクラサク”や“桜散る”、商取引の連絡や訃報など生活に密着していたことが懐かしく思い出されました。

今後50年後はスマホ、ラインでのやり取りが懐かしい思い出になっているかも。

#### 磯野 英作 (松山市 H24年退)

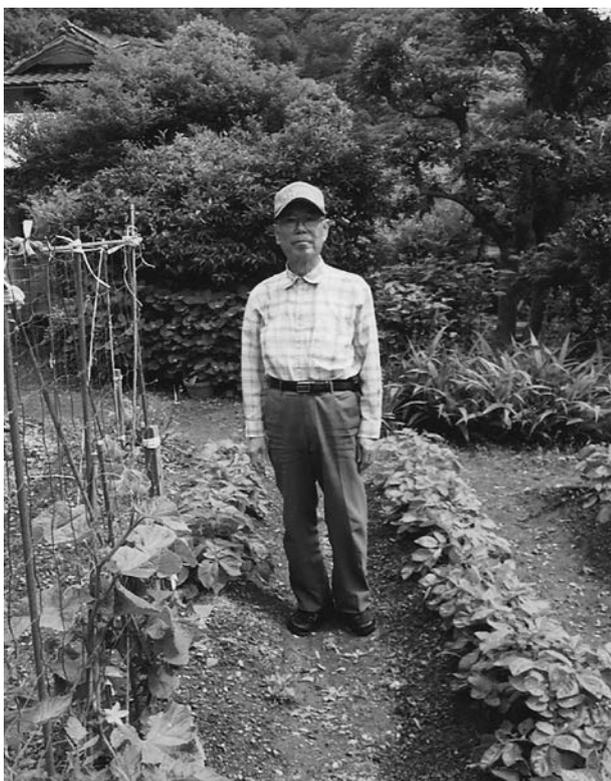
退職後、学生時代の仲間3人とフォークソングの練習を続けています。時々のライブ出演も楽しみでしたがコロナの影響で練習も中断せざるを得ませんが、オリジナル曲や「イムジン河」の懐かしい曲に加えて、SMAPの「夜空ノムコウ」や、あいみょんの「裸の心」などレパートリーは40曲近くになりました。YouTubeでも「トムとジェリー バームクーヘン」で検索すれば聞くことができます。同じチャンネルで10曲登録しています。

以前の日常が帰ってくるまでガマンが続いています。



ライブ出演（右が私）

板谷 邦司（美馬市 H17年退）



暇つぶし用の畑、後ろは酢橘とモ子の木

退職してすぐ、一人暮らしの義母が安心できるように家内の実家での田舎生活を始めました。

今は、その母も居なくなり連れてきた愛犬も逝って家内と穏やかな日々を過ごしています。日頃から訪ねてくる者も居らず周りを気にすることのない自然体の生活に健康の元があるのかも。

苦労するのは水源の維持管理や冬季の保全等、自前なので破損すると大事になります。こんな山でも光ケーブルのおかげで、離れた孫の顔を見ながら話ができる楽しみがあります。もう少し頑張ります。

稲井 和代（上板町 H14年退）

昨年ダイヤモンド・プリンセス号での楽しいクルーズ旅行の計画がコロナウイルス感染症拡大により中止となり、一昨年バルト三国へ行ったきり国内外の旅行も行けなくなりました。

また地元の小学校での茶道のお稽古も休みになり児童達に会えなくて寂しいです。

県外でのお花のお稽古も休み、我が家で季節の花を生け、孫のお手前でお茶を頂き自粛生活をしております。

読めなかった本を読んだり、大好きな洋画（DVD）等を見る時間が出来て、慌ただしく過ごしていた生活を振り返るゆとりもできるようになりました。

ワクチン接種をしましたが、まだまだ油断できない「コロナ君」との戦いです。

一人ひとりが気を付けて、早くこの状況が収束し、以前のようなライフスタイルに戻ることを祈っております。



未生流中山文甫会いけばな展に出品

稲毛 文夫（松山市 H5年退）

昨年8月妻が逝去し一人暮らしになりました。起床・就寝・食事など生活のテンポは誰にも制約されない気ままな状況、という反面、コロナ禍で外出自粛、「3密」回避という重しがあることから、人と会って刺激を受けたり緊張感に出会うこともない味気ない日々を送っています。

新型コロナの影響で、従来は年1回、一堂に集まって開催していた高校のクラス会が昨年、今年と中止になりました。その代わりということで昨年途中からオンラインでのクラス会が始まりました。

このクラス会は、毎月2回（1回約2時間）、そのときに参加できる者10名程度（あと数年で「米寿」を迎える高齢者ばかり。居住地は関東、関西、四国、九州）がパソコン上で顔を出して、ウイルス感染の心配もなく、気楽に喋る場となっています。（とは言え、従来のように旅をして一堂に会して、同じ場の空気を吸いながら語り合える会も待ち遠しいです。）

井上 淳介（いの町 H15年退）

生涯有給休暇の身になってもう9年です。変化のない日々の過ぎるのは恐ろしく早く、今年で74才です。

一日2時間、農家の真似事、米作りは人に頼んでもっぱら野菜、果物の一芽一花に癒やされています。

また、週一ゴルフで気の合うライバル達とグリーン上での真剣勝負？を重ねています。そして今は自粛中ですが、電友会の仲間達との事あるごとの飲み会も楽しみです。

現役時代、四国四県いろいろな職場でのたくさんの方々と出会いお世話になりました。その昔を思い出してボーッとする様な時間も増えてきました。人生の下り坂を着実に歩んでいる様です。

今のところ心身ともに「まあまあ」とは思っていますが、いつまで続くか「まあまあ」心配でもあります。お世話になった皆様をいつまでも忘れないように心がけておきます。



岩崎 正朔（丸亀市 H11年退）



カレンダー表紙の写真

社会人になって、仕事一筋に生きた感がありますが、唯一趣味として約60年続いているのが写真撮影です。

50才位までは山岳写真をモチーフとして大型カメラ、中型カメラを駆使して3,000メートル級の山並みに挑戦したのもつい最近のように思えます。

現在は、株式会社レクザム（本社：大阪市従業員数1,250名、主力製造販売品目は、エレクトロニクス応用製品、半導体製造装置関

連機器)のカレンダーに掲載する写真を担当して丸20年を迎えます。

2～3年前まではフィルムカメラにこだわっていましたが、機材の重さに限界を感じ最近ではデジタルカメラが主力です。

山岳写真で思い残しているのは、北アルプス後立山連峰の盟主鹿島槍ヶ岳の北壁の冬季の写真撮影です。撮影ポイントは、遠見屋根(海拔1700メートル)となり、ほぼ体力的に無理かなと思っています。あと5～6年ボランティア活動を頑張った後はローカル線を利用しての写真三昧が私の夢です。

#### 岩田 真一 (松山市 H25年退)

現在65才、最後の勤務は縁あってタウンページ社でお世話になっており、昨年9月から広島市にて単身赴任をしております。

広島では新たな仲間との仕事に飲み会にと、年を忘れさせてもらっております。コロナ禍のため、土日は広島近辺の散策で新たな発見や見聞などを楽しんでおります。残る数ヶ月をもうひと踏ん張り、ついでにもう二つ三つ楽しませてもらえればと思う今日この頃です。

#### 岩村 邦子 (新居浜市 H14年退)

いつまで続くのか、全然先の見えない、コロナ戦争。世の中、ワクチン接種で大騒動ですが、皆様は、副反応なくご無事で接種されましたか？

以前、アナフィラキシーショックを経験している私は、不安でしたが2回目接種後、38℃を超える発熱があり、とにかく熱くて熱くて。コロナでも下がらず、ふうふう肩で息をしている私に、色々な病気の問屋を開業している我が伴侶は、医師もかなり副反応を心配していたのに全然何ともなく「ご飯は、まだ～～」「おなか空いた、お母さん」って。もう！病気のせいか、近頃幼稚化が進んでいるらしい彼は、私を母親と勘違いしているのか？ヤダヨ、こんな、わがままで、ジコチューな爺さんのお母さんなんて。

幼くなる彼は、さておき、一日も早くコロナ戦争が終息し、穏やかな日々の到来を祈っ

てやみません。

#### 植田 忠生 (阿南市 H11年退)

日本画カルチャー教室へ通い始めて20年その間、徳島放美展、新作日本画展、徳島県展、日春展などに応募し、たまには入選・入賞することもありました。

絵を始めて草花や果実などを細かく丁寧によく見るようになりました。

作品の制作期間はモチーフやサイズにもよりますが2ヵ月から半年以上かかる場合もあります。「もういいか」と自分で納得した時が仕上がりです。

日本画で使用する顔料は①顔彩②水干(すいひ)③岩絵の具④パステル⑤墨や下書き用の木炭などを利用します。

特に「岩絵の具」は粒子の大小により濃度が違うので、その都度使い分けながら色を載せていきます。色合いも綺麗で見飽きることがありません。

当面自称「素人画家」を続けたいと思っています。

#### 大近 正男 (松山市 R2年退)

早いものでNTTを退職して2年が過ぎました。

一度は民間企業に再就職したのですが、人間関係が難しく退職しました。

何だかんだ言ってもNTTほど良い所はなかなかありません。現役の時はさほど感じなかったのですが、いざ離れてみると人間も仕事も良かったんだなあ！とつくづく思います。

今回、電友会経由で話があった防災看視員に応募しました。現役時代の経験を活かした仕事と聞いていますが、古い話なので現在に通用するかな？と思いつつ応募させていただきました。

現役時代からアピールは相当下手なので困ってしまいます。今回も応募にあたって履歴書を作成したのですが、例にもれず下手くそです……。

## 感謝の記憶

大西 宏（高松市 H21年退）

電友会に入会して10年、会の絆に感謝しており、今後とも発展、継続を心より願っています。子供時代から現在まで、周囲の方々に対し無数の感謝の記憶があり、自分なりに生きる上で、心の源泉と感じています。

### ①小学1年生時代

ヘリコプターが撒く宣伝ビラを追って国道に飛び出したが、ベテランのバス運転手さんの急ブレーキで救われました。命を救って貰った自分は、絶対に事故を起こしてはいけないと思っています。

### ②若い社員時代

ある日、転勤先に元の上司から電話があり職級を尋ねられたがよくわからず適当に返事しました。元の上司は心配して事務方に確認してくれ、後日、頑張れと激励電話を貰いました。

転勤した部下の身の上まで心配してくれた往時の上司に感謝すると共に、年齢ばかりで今も未熟な自分を恥じるばかりです。

## 「自家製苗がコミュニケーションツール」

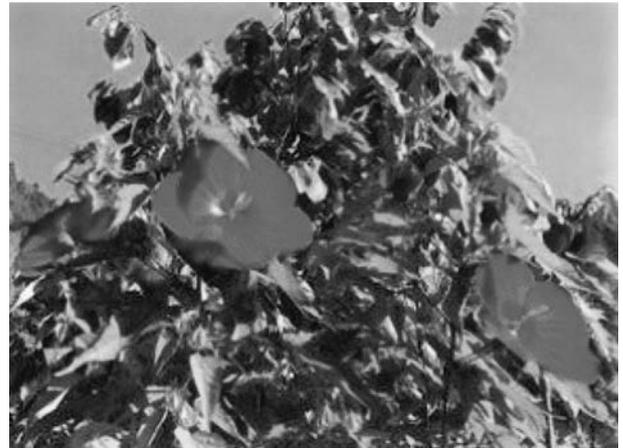
大野 文平（高知市 H22年退）

共通の話題に事欠く無趣味人間の、なんとかコミュニケーションツールとなっている挿し木や株分けで増やした花苗。当会報193号（令和3年1月号）「私は今」に寄稿した話題の続編です。

これを書いている7月中旬から、真夏の朝に直径20cmの真っ赤な大輪を咲かせるのはタイタンビカスとモミジアオイ。いずれも一日花なので夕方には萎んでしまうが、翌朝にはまた次の花が咲いてくれる。宿根草で茎は秋冬には枯れているが、初夏までに前年以上の数の茎が芽を出す。3年も経てば株分けして移植できるほどになる。こうやって増やした花苗は、SNSで目星をつけた知人へ押掛嫁入りさせる。当会会員にも犠牲になった方々が居られる（笑）

元々はホームセンターで売っている一般的な花だが、あまり普及していないので喜んでくださる。ここ数年で10人前後に嫁入りさ

せた。時季がくれば「今年も咲いたよ」とSNSに投稿してくださる写真を愛でるのが楽しみになっている。



3年前に嫁がせたタイタンビカス。  
実家のものより立派です

## 会社人生の思い出とその後を振り返って

大畑 栄輝（善通寺市 H13年退）

光陰矢の如しとは言い古された言葉ではあるが、電電公社との関わりは昭和34年に18才で入社し、当時は寮の設備も少なく最低でも2年以上無理な状況であり、下宿生活を余儀なくされた貧乏百姓の倅、欲は言っていない時代ではなかった。

貧しい家庭を支えるため鞆一つを持ち大阪府堺市で遊郭の女性を身請けした主人と暮らしていたが、主人に先立たれ用心棒として入居させてもらうことになった。3ヵ月の新入社員訓練を終えて高槻報話局の自動改式要員として働くことになった。

そこで大阪府議のおじさん夫婦から人生の生き方をいろいろ教えてもらったことは、人生を生きる縁となった。鈴鹿学園を経て高松電話局の試験課を振り出しに香川通信部、四国通信局等で働き多くの上司・先輩・同僚に恵まれ仕事の苦楽を経験できたのは人生の宝と今も有難く思い出す度に、お元気で過ごしているだろうかと思ふと数々の恩義を忘れはしない。

入社当時職場では囲碁が流行っており先輩から指導を受け少し強くなると、OS囲碁センターで指導を受け、その後将棋のB1で活躍した中井7段のお宅で囲碁好きが集まる碁会所が帰り道にあり、当時5段格の先客から

指導を受けるのが楽しみで通った思い出がある。

人生には趣味が必要であることは、ストレス解消の良薬になることに論を俟たない。

今は曾孫が保育所に通っているが、小学校に上がり良き友に巡り合い、独り立ちする日が来ることを日々願いながら家族一同で大切に育てております。

**緒賀 克郎（松山市 R2年退）**

このたびは、栄えある「四国電友会50周年」誠におめでとうございます。諸先輩方のご尽力に敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げます。

さて、電友会と私のことですが、私は退職までの3年間を宇和島にありましたNTTビジネスソリューションズ・南予営業支店で勤めさせて頂きました。

当時、南予地域の対外業務の中において、宇和島、大洲、八幡浜の三つの商工会議所の議員活動をはじめ、ユーザ協会、日公会、電友会との連携がありました。なかでも電友会「宇和島・御荘地区」「大洲・八幡浜・宇和地区」におけるOB交流会に地元の支店長として参加させて頂き、若き日にご指導頂いた諸先輩方と親しく・懐かしくお話をさせて頂く機会に恵まれましたことを本当にありがたく思っております。

さて、令和元年9月26日（木）愛媛県美術館で開催された「NTTOB・OGの作品展」に、電電四国・NTT四国野球部に関する出展があると聞き宇和島から駆けつけました。当日は電電四国時代からの優勝旗やカップ・トロフィーが整然と展示され、歴史の重さを再認識した次第です。

また20年前、私が監督をさせて頂いていた当時の野球部副部長として、大変お世話になった木田誠剛氏、柳原寛信氏にお会いすることができ、当時の思い出話を花を咲かせるとともに、昭和57年入社当時の会社報に掲載された自身の初々しい写真とコメントを見つける等、電友会の取り組みのお陰でノスタルジックで、心温まる貴重な時間を過ごさせて頂きました事に心より感謝しております。

皆様もどうか、良き思い出とともに健やか

なる日々を過ごされますよう、心からお祈り申し上げます。 2021.7.7勝山にて

**尾方 義治（美馬市 H12年退）**

現在、元気でケースデンキのパソコン教室（七十の手習い）に通っています。

だが、54才の時（年末から3月まで）脳梗塞で倒れ、3ヵ月余り入院生活を送りました。当初3週間程、喋ることが出来ず、無意識のまま過ごしたような記憶でした。

現在も循環器科、脳外科に通院しています。皆様も健康第一の人生を送りましょう。

**岡西 候正（高知市 H13年退）**

早期退職後、病院勤務を始めて20年になりますが、未だ継続中。

想定外のコロナ禍で、病院も患者さんは減る中、感染対策が求められ大変。太古の時代からしのぎ合ってきたウイルスの凄さに現代人類もたじたじ、どうなることか心配ですね。

私は夜よく夢を見ますが、場面はいつもNTT時代。昔の仲間や上司が出てきて懐かしく思い出を楽しんでいます。

体調は年相応に故障箇所が多くなり、いろんな薬を飲みつつ辛うじて、休日は碁会所、時々海釣り、たまにゴルフ（全然飛ばない）。

職場では平成生まれの孫の世代の職員も増え、雑談を聞いていると外国語のよう。団塊の世代も死語、断絶の時代に。

女房には、勤めはまだ辞めるなど言われ、あと2～3年、体が動くうちは頑張るしかないと思うこの頃。

皆さんも身体の不調を感じたら、早めに専門医の受診を。

**岡村 純雄（松山市 H5年退）**

現役時代から通算15年間、愛媛新聞社の「愛媛アマ囲碁最強戦」の観戦記を執筆した延長戦として、2015年12月、伊台地区の老人クラブで「囲碁クラブ」を結成するとともに、囲碁クラブのボランティア活動の一環として、小中学生へも囲碁の手ほどきを始めました。

小学生には、公民館で週一日、中学校では、囲碁クラブ活動で週三日、仲間と指導を行うとともに自宅でも、小学児童6人を指導しています。

全国大会へは、小学校が3年連続、中学校は2年連続出場し、昨年および今年は、新型コロナ禍により全国大会が中止となったため、雌伏三年、来年の出場を目指し励んでいます。

子ども達の真剣な眼差しと屈託のない笑顔は、83才の老生にとって何よりのビタミン剤であり、元気の源となっています。



子ども囲碁大会 (R1.12)

#### 芋坂 充 (綾川町 H23年退)

退職して10年が過ぎました。4年前に大病を患い、現在は4ヵ月に1回血液検査を受けています。今は異常なしです。

現役時代よりの古い発動機(農業用)収集は現在も続いています。手に入れると分解修理をします。回ると懐かしい石油の匂いと大きな爆発音がして何とも言えない気持ちになります。県外の運転会にも時々行っていまし

たが現在コロナで休止中です。

妻の実家の水田、畑、柿畑と、趣味と健康のため頑張っています。

#### 越智 健二 (今治市 H6年退)

四国電友会設立50周年おめでとうございます。新型コロナで出口が見えない今日この頃、我慢の生活を強いられていますが私も早期退職して26年が過ぎました。

平成29年に大病を患い大動脈狭窄症で生体弁への置換手術を、そして胃3分の2を摘出しました。お陰様で体調は回復し自家用の米、野菜づくりをしながら仲間と船釣りそしてグラウンドゴルフをしながら毎日を楽しんでいます。

今後とも本会の益々の発展と会員皆様のご多幸とご健康を祈念します。

#### 越智 峻 (今治市 H11年退)

月日が経つのは早いもので、ついこの間家族で福山・鞆の浦に旅行し還暦を祝ってもらったばかりと思っておりましたが、昨年喜寿を迎えました。

老人会とグラウンドゴルフにはまだまだ早いと敬遠していましたが、歳とともに周囲から度々誘われ遂に仲間に入りました。グラウンドゴルフは週2回程度行き、適度な運動と心地良い緊張感を味わっていますが、私にとっては、しばらく地元を離れ疎遠になっていた人達との交流の場が広がり結構楽しくやっています。

#### 小野 純一 (多度津町 H18年退)

5年前に食道癌を患い、県立中央病院(かかり付け医?)で手術等を繰り返しています。

人生100年、病気をポジティブに受け入れ、友人と約5km(桃稜公園)の散歩と土・日曜日の午前中1時間程度、子供達がサッカーを楽しんでいる姿を覗き、エネルギーを蓄えています。

スポーツを通じて、スポーツの振興及び幼児から大人までが、健康で「楽しく・明るく・元気な」仲間をつくり、地域活性化のための、

「ジョイナスたどつ（地域総合型スポーツクラブ）」は、誕生して小学5年生になりました。地域に根付き自立できるまでサポートしたいと考えています。

また、手造りの箱庭「和風・洋風（芝生と薔薇）」、盆栽（松、皐月、オモト）及び庭木の剪定とフォトクラブ桃稜に入会し、写真撮影等を楽しんでいます。

サッカー人生の終活として、「多度津高校サッカー部（昭和23年～約75年）」及び「多度津FC（昭和41年～約55年）」の歩みの2本立てを間もなく発刊する予定です。

#### 兼松 幸次郎（三好市 H13年退）

早期退職して20年、76才になりました。夫婦二人暮らしで健康で平凡な生活をしていましたが、突然私の左肺にガンが見つかり腺ガンとのことでした。なるほど喫煙歴58年が原因だったのか、「ああ、これでもう終わりか」と思いました。今年2月上旬に手術をし、今ではゴルフが出来るまで体力が回復し、以前の生活が送れるようになりました。ガンを発見、手術をして頂いた先生、そして励ましてくれた家族に感謝し、これからの人生、一日一日を精一杯生きようと思っています。

#### 鴨川 真人（松山市 H23年退）

退職して早や10年、再就職先の東電通時代にステージ4の食道癌を宣告（余命数ヵ月）され一旦は覚悟を決めていましたが、化学療法と放射線治療で奇跡的に回復しました。

以降はおまけの時間と割り切りありがたく日々過ごさせてもらっています。

退院1年後から4年間のテレコン勤務を経て、今は月の半分を中学校の美化活動で汗を流し、あとは庭いじりと老犬の世話に明け暮れています。

#### 川岸 広明（松山市 H29年退）

N T T 西日本を卒業して4年が経ちました。

現在は再就職先の広島にいます。（家を建てた途端に単身赴任になりました（笑））

単身赴任も最初は楽しかったのですが、話し相手がいないのでだんだん飽きてきました。

こんな私の楽しみは一昨年に家族の一員になった柴犬に会うために帰省することです。今まで30年以上社宅生活だったのでペットを飼えなかったのですが、念願叶って迎え入れることができました。

ペットを介して夫婦の会話も広がりお互いを想い遣ることもでき、まさに『子（犬）は鎧（かすがい）』です。

コロナ禍が収束して皆様とお会いできる日が来ることを心待ちにしています。



愛犬とともに

#### 川副 達也（松山市 H4年退）

昭和43年、社会人野球「電電四国」の一員として採用され退職するまで24年間どれほどの貢献が出来たのか分かりませんが、この度、電友会から喜寿祝いを頂き誠にありがとうございます。

私は元々教師志望で大学卒業後は神奈川県小田原高校の商業科教師、野球部監督として内定していたのですが、縁あって故郷松山で人生を過ごすこととなった事など、この投稿で懐かしく振り返る機会となりました。

現在は数年前にNHK松山放送局の番組でも放映されましたが、恵まれない環境の4才から18才までの子どもを預かる施設「ファミリーホーム菅沢」を運営しています。私はあまり役立っていませんが、家内を中心として施設のある五明地区の女性スタッフの皆さんのお手伝いを頂きながら6人の子どもを養育しているところです。子宝に恵まれなかつ



私の住み処

ファミリーホーム編下

成長と笑顔 励みに



取材後記 家庭養育 理想の姿

ファミリーホームで夫婦は、子どもたちに「おじちゃん」「おばちゃん」と呼ばれる。みんなで食卓を囲み、笑い合う。それが抱える複雑な事情を知らず、愛が溢れる家庭の光景があった。

「大事な日は血のつながりではなく、どなたかの月日と一緒に過ごしてきたかよ。11年の生活を振り返り、そう思うさんは力を込める。保護の必要な子どもを家庭的な環境で育てると

いう家庭養育の理想を体感する姿だと感じた。夫婦は70歳を超え、後継者をどうするのかが、ホームが各地へ派遣していったため、同じような理念や情熱を抱く担い手を増やしていけるのか。選別には地縁の理解や協力も欠かせない。

生い立ちや境遇に苦しむ子どもたちが、少しでも将来に希望を持つような環境ができるのか。自分もこれらを考えていきたい。

多岐亭孝典が担当しました。私も

@matsuyuma@yomiji.com

6/1付読売新聞掲載  
(本誌への掲載は読売新聞了解済)

河田 英夫 (松山市 H5年退)

56才で退職。翌年「宅地建物取引士」の国家試験に合格。以後多くの宅地や建物の売買・賃貸の仲介をしてきました。コロナの流行でお客様訪問が難しく、83才にもなったので昨春廃業しました。心身ともにのんびりです。

趣味の旅行は、77才で運転免許証を自主返納したので、マイカーから旅行会社のツアーで全国各地を旅行しました。昨前半は、コロナ流行で全中止。秋はコロナが一休みしてくれたので北海道と京滋へ。ワクチン接種完了でも各地への旅行はダメ。

早暁1万歩と野菜づくりで心身とも健康です。

川村 雄二 (高知市 H25年退)

30才を過ぎて始めた陶芸が、退職後の相棒になった。メインは週2回の自分の陶芸教室だ。教室生が辞めることなく来てくれる。本当に有り難い。

その他に年が寄った者の仕事として、高知

県展理事や高知市展の副委員長などもしている。

ところでもう一つ楽しんでやっていることがある。高知市中央公園の陶芸入門講座の講師である。その講座は春と秋にそれぞれ10回をもって1コースとしている。幸いにも私の担当講座は人気講座で(担当者談)いつも定員を満たしている。

講座の初めには、粘土は小学校以来と話していた方々が、やがて土の塊を珈琲カップや大皿に変えていく。最終回日、講座の出来上がり作品を受講生に渡して終了したが、窯出しの時「ヒヤッ」と歓声を上げて拍手しながら喜んでくれる。私までうれしくなる。今回もまた、多くの楽しい知り合いができた。

菅 輝昭 (今治市 H27年退)



電友会50周年おめでとうございます。

50年前は、入社3年目で自動電話交換機、開通時期で毎日楽しく過ごしていました。その後集約も始まり、窓口課長に来客数を訪ねると私たちをどうするのかと聞かれたこともありました。

皆さんに助けられ機械職、企画部、営業部とまわり47年勤め、退職後6年が来ました。

なおNTT松山病院も名前が変わり、各支店にも人がいなくなり寂しくなりました。

退職したと分かっているのですが、電話が使えない・インターネットが見えない・パソコンが動かない・スマートフォンの使い方が分からない等よく言われてこられます。直してあげると、喜んでくれます。

退職するとすぐ地域の世話役の話が次々ときました。私の地域では選挙で決めますが、

皆さん退職者を見つけ投票記入します。私は今でも地域の役が続いています。

退職後、海外旅行でもと思い、申し込みをしていましたが、コロナウイルスの影響のため出発6日前に旅行会社からキャンセルを言ってきました。

今は、田畑で自家用の米や野菜を作っています。コロナウイルスの影響で皆さんと会うこともなく田舎の山の中で過ごしています。

早く皆さんとお会いして、楽しい話をしたいものです。

### 木内 康雄（松山市 S57年退）

一つは先般会報で紹介された版画、今一つがマイブックに絵日記を描く。米寿に面白いと思って始めたが、日常を絵にすることは思った以上に大変。旅行もままならなくなった現在、世の中の動きに目を向けることで、新しい感動の発見に努めている。

2014年「米寿を生きる」上下巻を自作で製本装丁してOB展で発表したが、あれから続けて9冊目になった。コツコツやってきたことが、全集のようなボリュームになってきた。小さなエネルギーだが積もれば山となる。コツコツやるのがコツ。小さな面白さや満足感が潤滑油になり循環していく。今はやれるところまでやろうと思っている。それが絵になり、本になり、新しいものを創ることになります。

こんなことをしながら私は今を愉しんでいます。

### 昔の話

#### 岸 原子（石井町 H1年退）

皆さんの知らない頃のお話をしましょう！私が採用されたのは昭和27年1月でした。

電気通信省の時代です。新制中学3年生でした。職場にはクラブ活動も盛んで野球やバレーボールのクラブがあり、4月にはバレー部に入って、徳島県大会・四国大会と優勝し、半年余りで全国大会に出場することが出来ました。全国大会は高松でした（ちょっと残念でしたね）慣れない体育館でしたのを覚えています。（その頃には電信電話公社になってい

ました）当時は屋外コートでプレーするが普通でした。昭和43年にも二度目の全国大会（名古屋市）に参加でき、その後退部しました。ラッキーでしたね。

1年が過ぎ、1日も休まず出勤したので皆勤賞を貰いました。硝子の大皿と取り皿5枚のセットです。皆勤賞なんてびっくりしました。

結婚して60年のダイヤモンド婚も過ぎ、現在もまだそのお皿は使っています。貰ってから70年近くなりますね。大皿はよく使ったので少し色が褪せていますが・・・これからも大切に使いましょう。



皆勤賞の硝子皿

### 岸田 カツ子（松山市 S63年退）



日舞「詩吟入り荒城の月」

「おけいこ しとかんと 行けまいがね！」と、指導の先生。

慰問先の福祉施設には、元同僚や先輩方の厳しい見る目が光っているのです。

日本舞踊（扇崎流）月2回、フラは3回、

民踊4回のお稽古を、週1回の茶道（裏千家）とともに楽しんでいます。

年明けには、詩吟（清吟堂）7段の審査も予定されており、発声練習も、たまに。

蜜を避け、マスクを着けて、「いざの時」に備えています。

#### 北岡 弘（石井町 H18年退）

現役時代にお世話になった皆さんお元気でしょうか？

私は、今もスポーツ少年団で中高生のリーダー活動と指導者養成講習会講師、総合型クラブのクラブマネージャーと幼児の運動教室指導、障がい者スポーツ指導員としてパラスポーツの普及活動、近隣の高齢者住民のサロン活動等をしています。

次第に行動力が低下していることを自覚しながら、幼児から高齢者まで幅広い年代層の人達と障がいのあるなしに関わらず、スポーツを通じて楽しく明るく暮らせる地域づくりを目指して、有志と共に元気に過ごしています。

ここまできたのでコロナに負けず生涯現役を尽くしたいと思います。

コロナ禍で大変な中、たくさんの情報をまとめていただき、感謝しながら拝読しています。ありがとうございます。



幼児運動教室

#### 電友会と私

#### 木田 誠剛（松山市 H14年退）

四国電友会が発足したのが50年前。奇しくも私の会社生活をスタートした年である。

私が「電友会」というNTTのOB組織を

知ったのは、今から22年前のNTT香川支店の総務部長の時である。

出会は、香川電友会定期総会後の昼食会に招待された時だった。当時のNTT手帳をめくってみると、平成11年5月21日（金）11時30分から、高松城址にある玉藻公園内の披雲閣とある。

披雲閣は、壮麗な正統的書院造であるので、総会も会食も当然座敷に座布団である。勿論アルコールもタバコも無しである。淡々と弁当を食べて帰った記憶が残っている。

香川電友会との付き合いは、年1回の定期総会への出席と、峰山クリーン作戦への香川電友会会員の皆さんの参加だけであった。当然四国電友会がどこにあるのか、四国電友会会報も目にしたことはなかった。

平成14年5月にNTT西日本の構造改革により、ビジネスアソシエ四国が設立され総務部長となり、愛媛電友会会員となった。53才で電友会会員である。それと四国電友会会報にビジネスアソシエ四国の会社紹介を掲載してもらったのが、会報との出会いであった。

四国電友会との関係が濃くなっていったのは、2年後にビジネスアソシエ四国を退職しテルウェル四国の総務部長として再就職してからである。愛媛電友会の職域幹事となり、幹事として愛媛総会の打合せで資料に目を通し、定期総会に出席することとなったのである。ここにきてやっと「電友会のかたち」が見えてきたのであった。

それから暫くすると、今度は四国電友会の会計監事の要請があり、断り切れず年1回の会計監査を実施するとともに、四国電友会の定期総会への出席を余儀なくされたのである。

四国総会では、4県の会員の皆さんとの交流が懐かしく楽しいものだった。それがいつの間にか、四国電友会の事務局長を引き受けることとなり、今年まで10年の長きに亘り楽しく働かせていただいた。

会員の皆さん、NTTグループの皆さん、本当にありがとうございました。

電友会の事務局は、サークル活動やレク、会報等を通じて会員皆さんとの連絡親交を図ることが大切なことは言うまでもないが、N

TTの支店内に事務所を設けていただいているおかげで、現役社員との交流が図れることが大きな魅力だった。(後輩たちからは、いつまで先輩面しているんですか、勘弁して下さいよ、と言われていたのかもしれないが。)

個人的には、「ヨガサークル」(H25.4)と、「男の料理教室サークル」(H28.6)を立ち上げ活動してきたが、コロナでさっぱり状態になってしまっている。近いうちにサークル、レクの再開だけでなく、集会による定期総会で仲間たちと一献傾けたいものだ。

(別記) コロナ禍の中、3年ぶりにスロバキアの二女が二人の孫を連れて帰ってきた。関空まで迎えに行き、50日程楽しい夏を過ごした。その時の写真です。



二人の孫としまなみサイクリング



12才の孫との腕相撲

**木田 雅秀** (高松市 H18年退)

60才で退職し、早や、喜寿を迎え、振り返ると、自治会の役員を8年位務め、充実した生活を送っていたが、7年前に胆管結石で1ヵ月入院した時には健康が一番と気付き、

退院後、散歩位はしなければと、1ヵ月位は続いたが、今では気が向いた時に月に3~4回しか歩いていません。

今の楽しみは、月に2~3度OB会、友人、地区の人等とゴルフに行く事。スコアより周りの雰囲気の良いのです。それと、海釣りです。今は特に鯛釣りにハマっています。タイラバ(ルアーみたいなもの)によって釣りやすくなり、強烈な引きにやり取りする醍醐味は、すべてを忘れ夢中になります。

月に1度病院へたくさんの薬をもらいに行き、時々、何年振りに知り合いに出会い、元気?と、昔ばなしをしたりして、空元気でどうにかやっています。



R1.6 62cm真鯛 56分の格闘の末

**國吉 勇雄** (松山市 H15年退)

電友会からまさかの2回目の投稿依頼。前回の投稿後、高知県伊野町の友人が「会報見たよ。元気そうだね」と連絡をくれた。45年間不通だった。とても懐かしくお互いの近況など話が弾んだ。連絡くれてありがとう。

さて近況報告です。コロナ禍で外出するのは病院と買い物だけ。話し相手は妻のみ。孫達にも会えず。趣味の家庭菜園では今年初めてスイカとメロンの空中栽培にチャレンジした。梅雨のため人工授粉が上手くいかずどちらかと言えば失敗。キュウリは一苗130本収穫したが毎日食卓に上がったことを思うと成功とは言えず。トマトは支柱を使わずぶら下

げて育成。四段目収穫後、ぶら下げ直し中に根元近くが折れ失敗した。失敗したり失敗したりの30年。いつまでも初心者ですが、毎年楽しんでいます。体力的にあと何年頑張れるかな？

久保 隆雄（伊予市 S63年退）

いつの間にか人生90年を今年8月に迎えます。退職して33年、朝はテレビ体操、晩には日記を記入して健康とボケ防止に努めています。

地域の老人と週2回クロッケーに参加、市のみかんまる体操と介護予防教室に月2回参加して、仲良く楽しく健康で頑張っています。

家の農業では筍や栗を少し生産しているので、剪定、施肥、草刈り、収穫など一日数時間、体に無理しない程度に気軽に働いています。

子、孫、ひ孫にも恵まれ、みんな健康で暮らしているのも地域の人達の温かい友情および神仏のご加護とっております。

最後にコロナが一日も早く終息して、健康な社会になることを願います。



クロッケーに参加

窪田 竹雄（松山市 H13年退）

四国電友会創立50年おめでとうございます。この記念の年に喜寿のお祝いを頂き、ありがとうございます。いい思い出になります。

退職後始めた写真はまだまだ満足なもので

はありません。コロナの影響でモチベーションは下がっていますが、これからも自然との一期一会を求めて撮影に励みたいと思います。

最近、体力維持のため1時間ランニングとヨガ、ストレッチを始めました。無理をせず、長く続けることをモットーにがんばります。

NTTで教わったこと、そして、これから

倉本 逸男（松山市 H22年退）

今年、晴れて前期高齢者の仲間入りを果たしました。コロナワクチンを終え清々しい気持ちです。

NTTには1980年に入社して30年、関連の会社で7年、計37年間お世話になりました。そして証券取引所上場を目指す中小企業の監査役として上場を経験し、その後、個人事業を起こしました。

○NTTで教わったこと

NTTでは大きく分けて①光ファイバの導入・設備保全全般と②経営全般、子会社経営の二つのことを学びました。

入社2年目で加入者光のさきがけの専用線光ケーブルの商用試験を任されましたが、うまく処理できず失意の日々を送っていたことを思い出します。その後光ファイバの導入・保全に関わり、2005年にNTTを代表してアメリカでのOFC学会（光ファイバの世界大会）で当時最先端の日本のFTTH（加入者光網）の保全について発表したことが印象に残っています。退職時は四国の設備保全の責任者でした。

30歳を過ぎた頃から経営に関する部署へも異動が増え、子会社経営にも携わることとなり、技術以外の新たな世界に驚きと興味を抱きました。そして、技術、経営に共通する観念としてリスクマネジメントの概念が培われたように思います。技術の一部しか知らない無知な社員を経済社会へ導いてくれたNTTに感謝しています。

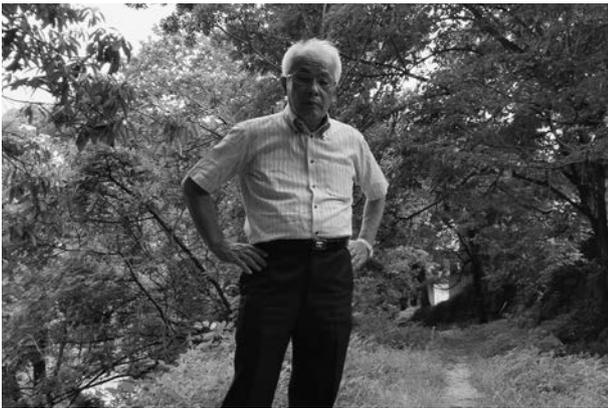
○今後に向けて

監査役を退任した63才の時、今までの知見をもとに世の中に貢献できるものはないかと模索しました。その結果、リスクマネジメント、BCP（事業継続計画）、上場支援が

フィットするので、それらを目的とする個人事業を起こし、「IPO・リスクマネジメント研究所」と名づけました。

利益追求よりも社会貢献に重きを置きますので、赤字にならない程度が事業計画の重点です。したがって事務所等の投資をせずに一つの精神でやっています。それでも、なかなか黒字にはなりません、ライフワークとして息の長い活動を目指し、いろんな方面の方との対話を大事にしています。

今後ともよろしく願います。



黒石 敬博（松山市 H21年退）



幼い頃の仲良し姉妹

自分の子供達に一度も手紙を書いたことがなかったのに、10ヵ月あまりの間、毎週、孫の受験勉強への応援として手紙を書くことになった。

しかし、いざとなると何を書いたらよいのか？なかなか良いアイデアが出てこない。娘からは、いとも簡単に「お父さんよろしく！」と言われるし、家内からは「どうせ暇でしょう！」と一言。確かに暇であるのは間違いないが（笑）悩んだ末、これまでの人生で学ん

だことを孫に少しでも伝えられたらとの思いで、色々なテーマで書くことにしました。

応援メッセージは、結局孫にとって「小さな親切、大きなお世話」になった（笑）と思いますが、捨てられずにファイルに保管されているようです。「ひよっとしたらメッセージは、将来にも多少役立ってもらえる時があるかな？」と勝手に思っている今日この頃です。

黒部 哲浩（松山市 H26年退）

四国電友会発足50周年、誠におめでとうございます。

私も会員になり今年で8年目を迎え、11月で63才となります。

現在はNTT西日本ビジネスフロント株式会社広域支援担当に籍を置き、当社生え抜きのマネージャー育成のお手伝いをしています。

初めて電友会総会に参加させてもらった時、当時お世話になった諸先輩方のお元気な姿にお会いできた嬉しさ、またお昼から酒宴が開催される非日常的な催しが融合し、とても楽しく有意義な時間を過ごさせてもらった強烈な印象が残っています。当時頂いた写真を見る度に懐かしい思い出でいっぱいになります。それ以来、毎年の電友会の会合がとても待ち遠しいものになりました。

ただ、昨年の誰しも想像しなかったコロナウイルスの人への伝染、今も続く感染拡大で2年続けて電友会総会が集合で開催されないのは本当に残念でなりません。

世代は異なっても諸先輩の皆様も、入会間もない方々もきっと私と同様なお気持ちと察します。入会した頃はまだまだ現役気分でしたが、時が経つに連れ、私にとって電友会は「心の拠り所」となってきました。NTTグループは本当に素晴らしい会社だと思いますし、そこに帰属し何らかの社会貢献が出来たことは自分の誇りでもあります。

間近に迫った完全退職を前にして、その中でも特に会社を牽引し、経験豊富な皆さんが集う「電友会」に所属していることが、今後の私の人生の羅針盤として大きな安心感を持たせてくれています。

最後になりますが、何をおいても健康第一。ここまできたらできるだけ長く年金もらって楽しく過ごしたいと思っています。そのためにもこの素晴らしい電友会が益々盛会となり発展・継続することを心より祈念し創立50周年の投稿とさせていただきます。

#### 河野 和男（今治市 H30年退）

50年前といえば、高校を卒業後、今治電報電話局・電報課配達係に同期で4人が（私・山口 長生・中矢 武志・渡辺 研吾）同時採用され、同じ年齢のため仕事が終わればマージャン・ゴルフなどで一日中遊びまわり、新車（ニッサン・サニー）を購入した時は愛媛にとどまらず佐賀県の方まで旅行し遊んだ頃が懐かしく、思い返されます。そのため、家にはなかなか帰らなかったで「息子が帰ってこない」と母親が心配し、先輩たちには、ご迷惑をお掛けしました。

その後、3人とも若くして亡くなり昔話が出来ないことが残念でなりません。時々、夢の中で3人の顔が浮かんできます。私がそちらへ行くまでまだ少し、見守っててください。

#### 河野 隆（松山市 H24年退）

昭和50年4月、電信電話公社に入社、配属されたのは東京の国分寺電報電話局電報課でした。

全く土地勘がない所での電報配達。地図を持って出ることはご法度だったので、とにかく配達エリアの地図を覚えるのに必死でしたが、四国出身の先輩が3人もいたのでとても心強く、今思えばあっという間の7年でした。

その後、昭和57年に松山電報局へ転勤となり、それからは四国と東京を行ったり来たり・・・。

平成24年3月にNTTコミュニケーションズを退職した後、NTT西日本アセット・プランニング(株)、そして最後にお世話になった、きらら保険サービスを令和元年9月に退職してから早いもので2年が経ちました。

現在は健康と体力の維持、そして何より趣味を楽しむために、スポーツジム通いと愛犬

の散歩で足腰を鍛えています。

私は16歳で二輪免許を取得して父親のカブに乗ってからバイクの魅力にハマりましたが、それも結婚を機に4輪へ転向。

しかし、バイクの楽しさを忘れられず、43歳の時にリターンライダーとして再デビューして以降、大型バイク（小さいバイクも）が一番の趣味となりました。

退職してからは休日に限らず、平日でも天気が良ければ一人バイクで出かけていますが、やはり、妻を後ろに乗せてのタンDEMツーリングや同年代のバイク仲間とのツーリングが楽しいものです。

60才を過ぎて体力の衰えは感じつつも、後15年は乗り続けることが目標です。そのためにはバイクに乗り続けることが唯一の健康法なのかも知れません。



愛車

#### 電話設備のむかしむかし

##### 河野 豊（内子町 H18年退）

電電公社、NTTを退職して15年経ちました。昔を思い出し電話設備について記憶の限り記します。

最初の職場は施設課として、所外所内の合同でした。その後、線路宅内課として電話の所外設備の新設保守の担当となりました。自動化までは磁石式共電式交換機で郵便局依託により交換手が手動で接続していました。

設備では裸銅線から鉛ケーブル、CCP

ケーブルそして光ケーブルと進化しました。

作業面ではすべて手作業でしたが、今はバケット車や梯子車等が導入され作業形態も大きく変わりました。

その後現場作業からデスク業務に変わり、線路設計、積算、監督業務等に従事しました。

今までの作業の中で一番印象に残っているのは地元内子町八日市の街並地区の無電柱化（地下配線）の設計作業と電気通信主任技術者の資格取得です。

また、42年間無事故無災害で退職できたのは上司、先輩、同僚のご指導そして家族の協力のおかげと感謝しています。

#### 小松 貴代美（松山市 H13年退）

四国電友会創立50周年を迎えおめでとうございます。

コロナ禍、ボランティア・サークル活動等すべてが休止となりました。

不要不急の外出は控えています。継続している運動は3密を避け徹底した消毒等細心の注意を払って、スポーツジムに通っています。時には城山公園周辺の目にも鮮やかな新緑を楽しみながらのウォーキングでリフレッシュしています。一方、在宅では趣味の筆耕が楽しみです。

#### コロナ禍の中で

##### 小森 啓示（松山市 H27年退）

NTTグループから完全退職をして、3年目になります。

退職してからの私の変化としましては、初めて孫ができた事と町内会長になったことです。65才での初孫は、同窓生でもかなり遅いほうです。

町内会長は昨年、順番で回ってきたのですが、現役時代は町内活動にほとんど参加してなかったので、罪滅ぼしのような気持ちで引き受けました。町内活動どころか、ご近所の方の名前と顔も知らないような状態で始めました。

任期は令和2年の4月からで、決まったことを決まったようにするだけだし、周りの人が助けてくれるので、会長といっても名前だ

けだからと言われて始めたのですが、その頃から「新型コロナウイルス」が猛威を振るい始め、町内の集会もできず、令和2年度は町内の行事はほとんど中止となりました。

傍目では何もしなかったのでラクをしたような印象だと思えますが、何も知らない新米が誰と相談したらいいかも分からず町内定例行事の中止を決めていくのは、心理的になかなかしんどいものでした。

町内会長の任期は1年で持ち回りが原則ですが、いろいろな都合で今年度も町内会長を続けています。

皆さんもそうでしょうが自分の人生の中で、こんな歴史の教科書に載っているような世界的なパンデミックを経験するとは思いませんでした。

退職したら旅行に行ったり、学生時代の友人とゆっくり会いたいと思っていましたが、今のところそれがいつになるのか分からない状態です。

この原稿を書いているのが令和3年6月20日です。世の中の的にはあと1ヵ月で東京オリンピックが始まります。

この原稿が皆さんに読まれるのは今年の秋だと聞いていますが、その頃世の中はどうなっているのでしょうか？

今年の春、ゴルフのマスタースで優勝し、日本中を沸かせた松山英樹選手は、ゴールドメダリストになっているのでしょうか？（ちなみに松山選手のお父さんが経営しているゴルフの打ちっぱなし場は、私のいる町内と同じ地区〔愛媛県松山市高浜地区〕です）侍ジャパンは優勝できたのでしょうか？コロナウイルスの感染は、ワクチン接種が進み、終息が見えてきているのでしょうか？それともオリンピック開催でますます感染状況は悪化しているのでしょうか？

今は本当に少し先も全く予想がつかない状況の中にいます。

しかし、私にはこの秋に一つだけ確実に変化していることがあります。

それは今年の秋、私の孫は二人になっているという事です。

**権名津 義寛**（松山市 H11年退）

ボランティア団体「まつやま文化財サポートの会」との出合いは、平成19年5月17日付、広報まつやま「文化財講座（初級）古建築の基礎知識・現地研修」の記事を見て講座受講後、入会したのが始まりである。

会の主な目的は、文化財について維持保存の支援活動（清掃奉仕・ガイド・自己研鑽）である。

近年で印象に残ることは、平成28年7月釣島灯台の清掃奉仕中、草刈機で柑橘類の灌水用管を3カ所切り漏水。町内の方が修理するなど迷惑をかけたが、帰途、町内会長から「お疲れさんでした」と声をかけられ感激。

平成30年7月西日本豪雨で常信寺の裏山が崩れ、松山藩松平初代藩主定行公の霊廟敷地に土砂が流れ込み、墓石・燈籠・土塀等が最大で70cm埋まった。土砂の撤去作業が終わった後日、住職はもとよりご家族も揃って「お盆前で人手もなく困っていた時なので助かった」と切々と話しをされ感動。

文化財めぐりの松山地方気象台、伊佐爾波神社等のガイドや古民家のポイントガイドでは、見学者の中に元職場の方が参加していて「お元気そうで」と声をかけられ感佩。

自己研鑽のため会員と東・中・南予の社寺の三手先斗栱、古民家の柱・桁・梁等の豪華さに感銘。

これからも感激・感動・感佩・感銘等々を充電しながら文化財の維持保存の支援活動をしたいと思っている。

**齊藤 淳一**（松山市 H24年退）

2021年3月末をもってサラリーマン生活に終止符を打ちました。

退職前からどんな趣味を持とうかと画策し、今、松山市で流行っているロードバイクを始めました。現在はまだトレーニング中ですが、近い将来には、しまなみ海道や四国一周の走破を夢・目標として頑張ってみようと思っています。

ただ、退職直前に腰痛が悪化し、動けなくなり整形外科を受診すると「脊柱管狭窄症」と診断され、まだまだ本調子とまでは言えず、

室内でのフィットネスバイクから体力回復を図り、「晴耕雨読」ならぬ「晴読雨読」、毎日が日曜日を積極的に楽しんでいるところです。

齊藤家は早死の家系ですので、あと10年も生きられればと思い大切に日々を過ごしたいと考え、サラリーマン時代に多忙により出来なかったことを一つひとつやっていきたいと考えています。

**斎藤 哲二**（松山市 H14年退）

私が住んでいる団地自治会は73戸です。団地に住んで電友会創立と同じ50周年が過ぎました。皆さんが安全に楽しく過ごせるように次の事項について心配りをしています。

- ①災害時緊急集合場所の草刈りと動線確認
- ②防犯灯の蛍光灯切れの点検
- ③神社秋祭りの神輿、獅子舞の準備
- ④団地進入路の安全点検
- ⑤救急車、消防車・パトカーが団地に来た時の安全確認
- ⑥自治会会員の死去に伴う措置
- ⑦役員の先行・選出の心遣い

**坂口 道啓**（高松市 H22年退）



**道啓アメリカ旅行**

平成22年6月にN T Tを退職し愛媛電友会の会員となって7年、故あって香川電友会で4年と早くも11年が（この間、仏英米等海外旅行に5回行きました）過ぎましたが、四国電友会50年の歴史を考えると諸先輩方が長く引き継いで来られた重みを感じます。

50年の間には電電公社が民営化されN T Tへ(東京在住でした)、さらに分社化へと(大阪在住でした) 組織変革した事で社員の一体感が薄れて来たように思います。

私も古希で香川電友会の事務局長をさせていただいていますが、昔なら古来希なりの年齢でも電友会では若手の方です。年々会員の方が高齢化し会員数が減少しています。

何とか電友会を活性化したいと思っておりますが、60才代の新会員が増えない事と新型コロナ感染拡大で主な活動が自粛状態にある事が目下の悩みです。早く普通の日常生活に戻りますよう祈っています。

#### 坂本 浩 (新居浜市 H2年退)

米寿のお祝いをいただき、誠にありがとうございました。

私達は、電電公社からの友人とその友達で、新居浜岳風会に入り、松原支部を作り、毎週1回、詩吟の練習をしております。

新型コロナの関係で休みもありましたが、みんな元気で、毎週1回の練習のほか、春季大会、秋季大会、吟友連盟、市民文化祭などにも出吟し、腹式呼吸のおかげで、元気に生活しています。

#### 四国電友会50周年記念に思いを馳せて

##### 三馬 定芳 (北島町 H19年退)

記念すべき50年の節目の年を迎える、四国電友会50周年記念誌の発行に改めて積み重ねられた歴史を感じます。

私の50年前を振り返りますと、当時の電電公社に入社して2年目、局長以下85人の小さな局で機械課に所属し課長以下12人の小規模な所内系保守部隊、開局間もない交換機は、C460XB 交換機で全国的にも珍しいTLS (市外市内) 機能を持たせた設備で、交換機・試験・電力・搬送・無線・PBX・交換台を含めた所内設備全ての保守を5輪番制で宿直をしながら実施していました。

今回の寄稿依頼を受け、課員の平均年齢は25才、当時20才の若かりし頃の出来事が思い浮かび甦りました。

その後18回の転勤では3分の1が単身赴

任、アメリカ出張も経験し50年前にはそんな自分を想像すらしていませんでした。幾度の転勤で多くの方々に出逢い、沢山の方々から指導や助言、教えを頂きました。今は全てが楽しい想いでと共に財産です。

N T Tを退職し四国通建(株) 徳島支店を最後に電気通信事業者の一員を卒業し、現在は徳島電友会に関わらせて頂いております。

光陰矢の如し、先輩たちが築いてきた数々のヘリテージに感謝し、刻を積み重ね築かれた、半世紀もの長い歴史を大切に、電友会の一員として四国電友会が未来に向けて、歴史を刻み続けることを願って止みません。

#### 篠浦 時男 (松山市 H13年退)

最近では昨年からのコロナ騒動で、家庭菜園での野菜作りと農作業、県外に出かけることは皆無の自粛生活です。

仕事を離れて12年、農作業や春と秋の小旅行、ゴルフ、花見や紅葉を求めてのドライブ等、お天気と相談しながら老後の生活を楽しんでいました。

コロナ騒動で沈静化して、趣味のドライブや小旅行が家内と自由に楽しめる日が来ることを願い、体力維持とボケ防止に努めています。

#### 篠原 紀昭 (西条市 H7年退)

十数年前、地域の同級生と徳島の美郷に蛍の鑑賞に出かけた。無数の蛍の乱舞に感激。また、蛍館では蛍の飼育がされていた。蛍が飼育できるとは知らなかった。子供の頃には当地区でも蛍が舞っていたことを懐かしく思い昔のように蛍を飛ばすことができないかと思い、インターネットや先進地数か所に出向き勉強し飼育に挑戦してみた。

2~3年は数十匹飛ばすことができたが、自然界での環境が整っていないのか、子孫を残すサイクルは難しい。昨年より再度飼育に挑戦中。

## 脊柱管狭窄症が . . .

篠原 浩邦 (松山市 H21年退)

生来の怠惰な性分のため、社会人になってからというもの、ほとんど運動らしいこともせず、腰椎椎間板ヘルニア、坐骨神経痛、脊柱管狭窄症と悪化の一途をたどりました。お爺さんのように腰が曲がり、少し歩いたら休息の繰り返し。時には激痛で眠れないことも。

腰牽引、マイクロ照射、針、マッサージ、ブロック注射といろいろやってみましたが、劇的な改善には至らず、半ば諦めていたところ、鍼灸師さんから紹介されたのが、「ワールドウイング松山」というフィットネスジムでした。

従来のジムとは違い、初動負荷理論に添って作られた特殊なマシンで、肩甲骨や股関節を中心とする筋肉などをストレッチして、体幹を鍛えるというものです。

退職後4年間で来館1,000回を超えましたが、3年目くらいから腰痛が改善され、背筋もピンと伸び、歩き続けることも叶いました。

トレーナーやジムの仲間とのコミュニケー



ちっともやせません

ションも相まって、毎日のジム通いが楽しくなり、今では生活基盤の大切な一部になっています。

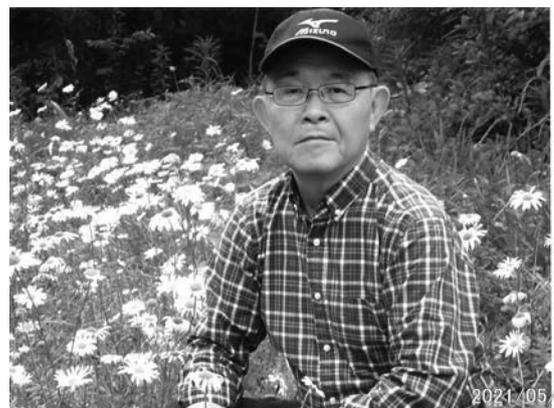
四宮 恭治 (吉野川市 H12年退)

平成3年春、名古屋にある本社事務改善室へ異動の辞令である。さて、何をするのかと思いきや、当時、全国で料金請求誤りが多発し、一年かけて注文受付から料金請求に到るSO行程を改善しなさいとのこと。四国から、マネージャーとして参画し、担当者も20数名参加しました。

まずは、名古屋本部から富山の高岡支店へ入り、途中から岡山の瀬戸支店に事務所が独立した。四国、中国出身者を軸に、全国の社員でチーム編成し、私は、南は奄美の名瀬支店、鹿児島支店、北は北海道苫小牧支店等13支店を縦断して調査し、調査に2週間、持ち帰り改善案作成、支店長へのプレゼンと、かなりハードな作業が約1年間嵐の如く過ぎ去りました。

今思えば麻疹の如く若い社員を引き連れて、昼夜といわず改善案に没頭したあの頃の情熱が懐かしい。そして、戦友の諸君と再会したいものである。その後、あのCUSTOMが導入され、各部門を統合したシステムとして顧客対応が可能となりました。

あの時の、名古屋、岡山瀬戸で頑張った諸君、元気でまた会いましょうね。



妻の実家の庭にガーベラが咲いています

清水 毅志 (松山市 H29年退)

四国電友会50周年おめでとうございます。  
平成29年7月、家内の両親の介護で帰郷

した私達にとって、この4年間はまさに激動の時期でした。

令和元年7月に母親、令和3年4月に父親と続けて二人を送ることになりました。特に父親はコロナ禍の中、地域の人にも支えられながら96才の長寿を全うしました。前日まで一人で食事をし、トイレにも行っていましたが、翌日には家内と親族に見守られながら旅立ちました。私も悲しみながらも、「かくありたい」と思わせられる最高の死に様でした。

秋以降コロナが終息すれば、これからは夫婦二人で故郷愛媛の生活を満喫したいと思う今日この頃です。

最後に四国電友会と会員の皆様のご健勝とご発展を心よりお祈りしています。

#### 清水 正光 (松山市 H22年退)

電気通信分野ほど取り巻く環境が激変してきた業種は他にありません。業務運営体制も何度も見直されましたが、社員の仲間意識がとて強く、幾多の苦難を共にのり越えてきました。『電電ファミリー』としての強い絆は、退職後も人生の大きな支えになっています。

通信が特に重要視される災害対応が懐かしく思い出されます。お客様対応に苦勞もしましたが、復旧作業が一段落したときの安堵感は何物にも代えがたいものでした。この貴重な経験を活かして、地域に少しでも貢献できるよう取り組んでいます。

#### 秀野 拓 (松山市 H28年退)

四国電友会50周年おめでとうございます。半世紀にも渡り諸先輩方が数々のバトンを繋いできた歴史に敬意を表します。

私も四国電友会の歴史には及びませんが約40年間NTTグループで勤務しました。

昭和55年電電公社宇和島電報電話局電報課の電報受付に採用されて以降、松山・高松・東京・大阪で、本当に様々な仕事に携わりました。楽しい仕事ばかりではありませんが、そこで出会った人々に支えられ、なんとか無事にNTTを退職できました。お世話になりました皆様ありがとうございます。

今はNTTグループ会社の、きらら保険サービス四国支店で勤務していますが、65才の年金支給まで残り5年。まだまだ、元気で楽しく笑いながら新型コロナに負けないよう頑張ります。

最後になりますが、貴会の益々のご発展を心からお祈りいたします。

#### 白川 孝夫 (南国市 H21年退)

コロナで大変な現在、妻と義母と老犬18才のラッキーと一緒に生活していました。

母を我が家に連れて来て8年が過ぎましたが、介護4の状態で妻が介護をよくしてくれ、自分も手伝っていましたが大変でした。

その母が最近体調が急に悪くなり入院していましたが、残念ながら先日息を引き取りました。

今は、毎日とはいきませんが田園の周りを散歩し2ヵ月に一度健診を受けています。

コロナ禍での楽しみは、毎日の晩酌で黒霧の焼酎を3合近く飲んで、時々、藤城さん(四国アイランドリーグの発足当時の高知FD監督)と電話で昔の思い出や近況を話したり、また、高知FDを応援していた関係で、当時の選手にも電話をかけ、話をするのが楽しみで懐かしいです。

また、高知FDからロツテにドラフト指名された角中勝也選手(首位打者2回獲得)の高知での祝賀会で、いろいろ話ができただことはとても楽しかった思い出です。今も応援しています。

皆様もコロナに負けず、健康にはお気を付けてください。



初の首位打者時、角中勝也選手



2度目の首位打者時、角中選手



高知 FD 藤城和明監督と

新谷 義之（松山市 H3年退）

新型コロナ戦争が始まって以来、感染者が二千人を超え、地域経済を脅かす事態となりました。

電友会におかれては、創立50年長期間ご苦労様です。

この年に私事とはいえ米寿を迎え手紙、祝い金を頂き重ねてお礼を申し上げます。

今後は、従来にもまして、健康面では、朝夕の散歩、趣味は囲碁将棋等を友人宅で指導を受けながら頑張ります。

最後に電友会の皆様のご健康ご活躍をお祈りしお礼の言葉といたします。

勢井 清敬（徳島市 H15年退）

NTTを退職し、ドコモサービスでお世話になっていた頃、先輩からゴルフサークル八〇会の入会を勧められ、その時に初めて電友会に入会したのが、H17年でした。それ

から数年後に縁あって徳島電友会の事務局長を拝命し現在、13年になろうとしています。その間いろいろありましたが、H23年度から始まった徳島電友会50周年記念「趣味の作品展」、たくさんの方の出品があり多くの方に素晴らしいと称賛され喜ばれたものです。

今は、コロナ禍でH31年度の5回目から延期の状況です。会員もずいぶん減少し、これからどうなることやら、と思っていますが、来年の3月の作品展は、徳島電友会60周年に当たっています。是非、実施できるように準備したい。そして十二支をひと回りした事務局長の任を、若い誰かに引き継ぐことによって会員を増やすことが私の目下の急務と考えています。

瀬部 吉輝（松山市 H29年退）

58才から62才までNTT四国の子会社に勤め当初はここで終わりでしたがちょうど、退職再雇用の制度充実で、65才まで減額した給与で働けることとなり、NTT四国に復帰して65才まで働き2017年に退職しました。退職して4年が経ち仕事のストレスからも解放され、サンデー毎日の生活にも慣れてきました。

単身赴任していた時に寮の先輩に勧められて早朝ウォーキング（4kmくらい）を始めたのですが、60才の人間ドックで「メタボ予備軍」と言われ、早朝散歩くらいではダメだと思いついスポーツジムに通うようになりました。

今もジム通いは続けていて週4日（月水木金）、2時間くらい「運動+筋トレ」をしています。早朝ウォーキングの方は単身が解消し自宅に戻ってからも続けていて、退職してからは、歩く距離も伸ばして毎朝6km、1時間くらい歩いています。両方とも、もう10年近く続けており、おかげで体重も減り、腰痛も、痛風予備軍も解消されて、現役時代とは違った規則正しい日常を元気に過ごしています。

長女の孫（今年大学入学と高2）、長男の孫（今年小学校入学）と孫は3人で、長女は今治市、長男は藤沢市に住んでいます。長女の孫達は、身近で成長するのを見てきましたが長男の孫は距離も遠いし、最近はコロナ禍

で、なかなか会えないのが残念です。

退職を機会に古かったオーディオ機器を買い換えて好きなクラシックとJAZZを楽しんでいます。時間にゆとりがあるので読書も楽しんでいます。最近は文字の拡大縮小が自由に出来る電子書籍を専ら利用しています。場所もとらず、好きな場所で端末（スマホ、iPad）を選ばず読めるのが気に入っています。

退職の前年から海外旅行を隔年ごとにしていましたが去年からコロナ禍で中断しています。海外旅行となるとコロナの終息は世界的に見ると当分先なので、足腰が丈夫な内に再開出来るといいな、と思っています。

#### 高橋 昭義（松山市 H30年退）

四国電友会50周年おめでとうございます。

私は3年前にNTTを退職し、現在は日本メックス株式会社でお世話になっております。NTT時代の大半は経理業務に携わっていましたが、今は経理以外の業務が主で不慣れで戸惑いながらも、老化防止のためになるかと思いながら勤めています。

NTT退職前から、四国電友会の木田前事務局長並びに柳原事務局長のご厚意により、「ヨガサークル」および「男の料理教室」に参加させて頂き、サークル活動だけでなくイベント行事にも楽しく参加させて頂いております。

最近ではコロナ禍等もありサークル活動に参加できておりませんが、電友会主催の各種サークル活動、また四半期毎の会報、特に「私は今」の欄は、知っている方が少ないながらも諸先輩の様子が伺え楽しく読ませて頂いております。

今後、四国電友会の益々の発展、また退職後の皆様へ情報発信等さらなるご活躍に期待をしております。今後ともよろしく願いたします。

#### 古希を迎えて

#### 高橋 龍夫（西条市 H24年退）

古希となる70才まで仕事に仕え充実した日々を送ることができました。

仕事も終えこれから、10年遅れの第二の人生を身体・健康に気を付け、好きなゴルフを楽しみたいと思います。

現役時代の思い出は、昭和53年の都市対抗野球大会の1回戦で長野代表の「三協精機」と対戦し、「電電四国」として初めての勝利をあげました。

2対1の接戦での勝利でしたが、7回裏の三協精機の攻撃で先頭打者の代打に左中間に2塁打されピンチとなった時、私がショートを守っていて、隠しボールで走者をアウトにしてピンチを救い勝利したことが思い出されます。

今後の電友会の益々ご発展と活動を祈っています。

#### 高橋 佳子（松山市 H13年退）

今の私は“時の流れに身をまかせ”の歌の文句ではないが退職して20年が過ぎようとしています。

ところで、私の楽しみは、電友会より送られてくる会報で、かつての上司、先輩、同僚の活躍を参考にして、下手な絵手紙、絵、茶道、万葉集講座の受講などをして脳トレをしています。

とにかく早く新型コロナが収束し、皆とマスクなしのお顔をみながら大笑いしたいものです。まずはワクチン接種を！

#### 竹内 弘征（松山市 H4年退）



平成9年、61才でサラリーマン人生を終えました。自由の身になって最初にしたことはパソコンの購入でした。老化防止対策です。それと写真サークルへの参加です。入会当時の撮影会はフィルムカメラでした、そのうちデジタルカメラへと大きく変わり、パソコンの出番がきました。

展示会やサークルの例会へ持参する写真は、全て事前に挑戦しました。失敗の連続でした。モニターで確認した写真が、プリントアウトされてくるのを待つのは、人任せでは得られない格別のものがありました。試行錯誤し、やっと自分の思いを表現出来る楽しさは倍増です。

もう一つは、体力や気力を維持し、仲間との撮影会や定期的な交流、作品の合評会、グッと一杯のひと時も捨て難く(飲めないけれど)続けたい。今はコロナで自粛だけどね。

## 私の野球人生

武田 喬之 (松山市 H13年退)

私は39年に入部し15年間電電四国に在籍、都市対抗に8回、秋の日本選手権に初回と第4回大会に出場し高校時代に甲子園に出場していない私にとって感激でした。

第4回大会は監督として出場し、準優勝を勝ち取り私の野球人生にとって最高の思い出です。

それから数十年後に野球部解散の話があり、クラブチーム「フェニックス」の立ち上げに参加し2年目に企業チームを破り四国大会優勝し、全国大会に出場しほんとうに大感激です。

私の野球人生最高！

武田 洋一 (高知市 H9年退)

早いもので退職して25年が経過し、今年は傘寿とのこと。

通信局施設部で設計担当として四国4県で土木設備や線路整備の増設工事の設計をしていた頃には体力に任せて無茶苦茶仕事をしました。そして、たまの日曜日には下手なゴルフに行き、子育ては妻に任せきりの生活でした。

その後も局外設備の建設や保守に従事していたので、今でも仕事をしている夢をよく見る。

そして、四国学園の他に鈴鹿学園や中央学園でも訓練を受けたことがあるので、今でも時々これらの学園で「何でこの齢になって訓練を受けんといかんのやろう」とぼやいていると教室や寮への道が分からなくなって困っている夢も時々見て、夢の中で先輩・同僚と再会し楽しんでいる。

皆さんこのような夢を見ませんか？

現実の生活ではN T T-O Bボランティア、町内会役員、市の統計調査員(国勢調査等毎年何らかの調査がある)高校同窓会の幹事長、そして田舎の畑作業、認知症になった妻をデイサービスに通わせ炊事・洗濯・掃除当番と結構忙しい生活です。

5年前には認知症初期の妻と高知新聞社主催の金婚式典に出席し、正面前から2番目の特等席があたり開式を待っていると、高知放送のリポーターが真っ先にインタビューに来てビックリしていたら妻がニコニコしてよく喋り、私は一言だけで終わりました。

長生きしていたらいろいろあります。コロナの予防接種やがん検診を受けて、もう少し皆さんとのお付き合いを続けたいと思っています。皆さんもお元気で長生きしましょう。



金婚式典に出席

## 竹田 米一（松山市 H18年退）

会報でも紹介させて頂いた、趣味の一つ、水石・八石之会の展示会、年1回が2年間もコロナウイルス感染のため中止に。また、月2回の台座教室も公民館の利用休止が続いています。

楽しみの探石は、四万十川・仁淀川・石手川等に出かけて気晴らしをしております。

愛媛電友会主催の趣味の作品展が令和3年11月下旬に予定されているので、出展を楽しみにしており、予定通り実施できることを望んでおります。

私自身2回目のワクチン接種も終わりましたが、まだまだコロナ感染が続いており残念です。早く落ち着いて以前の生活に戻りますように願います。

## 歩き遍路体験記

### 武知 稲秋（松山市 H14年退）

四国八十八ヶ所（88寺）巡礼について長年「歩き遍路したい」との希望がありました。退職し、十分な時間、体力のあるうちにこの度69才の夏から挑戦始めました。

遍路は1番から巡礼する（順打ち）と88番から巡る（逆打ち）に分かれ、さらに1番から88番まで一気にまわる（通し）と数回に分けてまわる（区切り打ち）に分かれます。今回、区切り打ちでお参りしました。お四国は1200km以上の長丁場で山道（遍路道）もありますが、その大半は舗装道路であり足・腰にきます。無理をせず自分にあったやり方がベターかと思えます。

まず準備ですが、歩きに不可欠な雑誌「四国遍路ひとり歩き同行二人」を一番札所で購入。その中には歩きに必要な情報が記載されております。（お寺の順路、距離（道しるべ）宿泊施設、交通手段、食事処、トイレの場所・・・など）歩き遍路をする人はまず手に入れます。

私は遍路ユニホームとして白衣・菅笠・金剛杖・ずた袋（おさめ札・納経帳・線香・ローソク・お経・お賽銭・・・等収納）準備しました。これも一番札所で購入できます。あとはザックにカッパ・着替え一日分・折りたたみ傘、これで準備万端です。途中で必要なもの

があれば手に入れていきました。市販の遍路に関する雑誌は、一応事前に購入しましたが、上記の雑誌により不要でした。

一番霊山寺に普段着で入り、お参りを済ませ、上記の遍路備品を身にまとうと、一応遍路姿です。

2017年7月15日～2019年3月22日、1年8ヵ月・区切り回数23回・延べ52日要しました。徳島、高知は区切り遍路1回あたり1泊か2泊を利用、香川は一部利用、愛媛は基本的に日帰りでお参りしました。宿舎は洗濯機、乾燥機が備わっており、毎日洗濯できるため着替えは1枚でOK、荷物はなるべく軽くが基本です。

歩き遍路1日目は一番から五番地藏寺まで11km、酷暑の中ではありますが、当初は軽く考えておりました。ですが酷暑の中、半日近く夏の日差しに加え、道路面の照り返しで



大師堂前での「遍路旅姿」



38番金剛福寺境内

体力の消耗が激しくふらふらの状態で宿舎にたどり着いた感です。

水不足で予想以上に体力的にバテました。宿舎で一気に1リットル程飲むと体力は回復しました。夏の歩きには予想以上に水分摂取が必要です、以降はコンビニに出合えば水分補給に務め、ザックには常時2本のボトルを携帯しました。

次に厳しかったのは足のマメです。そら豆大のマメが両足にできます、夜宿舎で強くテーピングをしました(カットバンでは間に合いません)。一部では針でマメの水を抜くと良いとありますが、私はテーピングによりマメを固定します、よって翌朝何とか歩けました。一度マメを作り回復を待つと、どうしても1ヵ月程度お休みとなります、マメの回復を待ってチャレンジです、体力も回復します、区切り打ちの利点です。歩き始めて半年経過すると、マメはできなくなりました、身体の適応能力は素晴らしい。

区切りでは、晴れの日・曇り・風・雨・雪の中、道端の草木や花から四季を感じながら歩けます。素晴らしい朝日、夕日に接し、感激のあまり思わず見惚れることもありました。

歩き遍路では、季節的に春・秋の行楽シーズン及び酷暑の夏は控えたほうが良いと感じました。行楽シーズンは団体さんがお参りし、納経をするため多くの時間をロスします。

遍路道は山道にありますから「マムシ」が出る時期は注意が必要です。

また接待という風習に接することができます。食堂で食事を終え支払いになると主人が「遍路さん接待をさせていただきます」、また車がスーと近寄って缶コーヒー接待、ある部落では歩き遍路さんを接待するために高齢者が集会所に集い接待します。

遍路は接待されるとお返しとして「おさめ札」を渡すルールですが、接待する人に聞くと「遍路さんの札は念が入っているから処分に困る」と言われそれ以降、接待されるたびに必要かどうか聞いてから渡すようにしました。

霊場では一応午前7時から午後5時まで納経ができるルールですが、一部のお寺では時間オーバーでも納経に応じていただけまし

た。また、午前7時でも門が開かないお寺もありました。お四国の霊場もいろいろで良い寺、時間にルーズな寺もあり社会と変わらないと思いました。

歩き遍路の体験で一番感じたのは、「ありがとうございましたの言葉。感謝」です。遍路は一人では歩けません。お寺・宿舎・接待・地元の人ビト(道をよく尋ねました)・・・等の支援を受けます。皆さまのおかげで結願できました。二番目は歩きでは長時間自分を見つめます、いろんな事柄を思い浮かべます、今まで歩んできた人生を振り返ったりできます。次には体力の確認ができました。当初はご利益があるかな?と少し期待しておりましたが、実体験の中「ご利益」得られた感はありませんでした。たぶんお大師さまから、まだまだ甘い人間とみられたのでしょうか。

以上が私の歩き遍路体験記です。もう一度区切り打ち遍路に感謝です。

#### 武智 守数 (東温市 H6年退)

思いがけないお祝いを頂きありがとうございます。

四国電友会50周年おめでとうございます。私もおかげさまで日々を送っています。電友会の皆様のご多幸をお祈りします。

#### 竹葉 久 (松山市 H3年退)

この度は米寿のお祝いを頂きありがとうございました。

退職後は、民間会社勤務を経て65才定年まで働きました。今は、病院通いと庭先のミニ菜園の野菜作りが生活の主流です。

通院は複数の診察と処方薬により何とか年相応の健康維持に努めています。

孫達3人も中学生以上となり訪ねて来るともめつきり減り、出口の見えないコロナ禍の老老二人の自粛生活です。一日も早い日常が戻ることを切に願っています。

今年は電友会創立50周年とのこと、本会の益々のご発展と会員ご一同のご健康をお祈りいたします。

## 「佳き思い出」と「今」

竹林 宏（高知市 H13年退）

退職後20年を経過した今、特別な思い出として残ったのは、松山での6年間の経験です。

四国研修Cでの4年間、当時、端末機器開放に伴う社外向け「工担セミナー」の開催で四国を巡ったこと。中国地方からの訓練生受け入れにより多くの人を知った事。

又、四国支社での「カスタム」導入に向けた2年間の取り組みは、生涯の佳き思い出となりました。

60才から始めたゴルフは月3～4回程楽しむ中、昨年2度目のホールインワンを達成。

趣味の庭木では、春秋の剪定に汗を流しつつ生涯現役を目指し、通信設備の工事折衝を現在も続けている昨今です。

## 一番の思い出は社外の方とのお付き合い

田所 秀二（南国市 H22年退）



H12. 松山大会

採用から18年を経て、そのころ始まったばかりのASKを担当することになりました。先輩と一緒に勉強しながら初めての研修を開催するなど、今までの設備（機器）と話す仕事から人と話す仕事への転換でした。それから17年余り同じ仕事に携わることとなり、併せて多くの社外の方たちとお付き合いをさせていただきました。なお、一緒に仕事をさせてもらった先輩も今年5月に帰らぬ人となり、そのころの思い出を語り合える人がなくなりました。寂しい限りです。

その社外では、QCサークルの幹事、最後には世話人までやらせてもらい、人間として

一番育ててくれた場所であったように思います。高知での南四国地区、松山での四国地区での活動で多くの人を知り、また中国・四国支部の企業の方たちと遠慮のない議論をさせていただくなどお付き合いさせてもらいました。最終的には本部（東京）でNTT四国としての取り組みを発表させていただくなど、社内だけではできない多くを学ばせてもらいました。

## 電友会ボランティア活動賞受賞の思い出

田中 一郎（高知市 H19年退）

令和元年11月20日KKRホテル東京（大手町）に於いて第29回電友会ボランティア活動賞表彰式が行われ全国36名の方々と共に鈴木電友会会長から名誉ある表彰状を頂いたことがNTT退職後最大の思い出です。

私は電波適正利用推進員会長として10年以上、各種電波障害対策活動や子供達に電波教室の開催や地元NPO法人理事として地域活性化活動や自主防災活動等が評価されたと思います。

直後コロナ騒動ですべての活動は休止か半減しておりますが、今後も表彰され懇親会で出会った電友会仲間達と表彰に恥じないように、元気なうちは日々ボランティア活動を継続してやっていきたいと思っております。



写真中央が私

田中 清平（伊予市 H20年退）

電友会の皆さま、新型コロナウイルス禍お見舞い申し上げます。

私は、退職後、専業農家として毎日、農作

業に追われています。苺、ソラマメ、一般野菜を令和元年より、ホームセンターのダイキ産直市と契約し出荷しております。こういった日々の農作業の傍ら海への船釣り、農閑期には、子供、孫と小旅行に出かけるなど緊張感のない生活を送っています。

折角の機会なので「健康」について一言。10数年前より、毎日朝食後に米ぬか（大さじ一杯の米ぬかと牛乳コップ一杯を一気に飲む）を、また、2年前よりドクダミ茶を1日1リットル飲んでいきます。

効能は、米ぬかは、大腸がんや糖尿病を予防する効果があるようで、ドクダミ茶は、別名、十薬と呼ばれ、毛細血管を活性化させ動脈硬化予防と老化した肌をスベスベさせる効果があるそうです。

因みに、私の実年齢は73歳ですが血管年齢は58才です。

#### 田中 潤二（松山市 R2年退）

皆さんの顔が浮かびます。平成元年四国支社経理部へ異動しました。経理は素人で「エラいところへ来てしもた」と焦りました。重松さんから仕事の厳しさを教わり、水野さんの駄洒落で笑いころげ、仕事帰りに明野さん只安さん戸川さん三谷さんらと閉店まで飲み喰いあげました。この3年間は私の職業人としての礎となり古き良きひとコマです。

さてと東京五輪のサッカー男子準決勝スペイン戦が間もなくキックオフです。

このあたりでペンを置きます。またいつかどこかで。

#### 田中 美佐子（新居浜市 S61年退）

有料老人ホームに入居して8月で8年になります。コロナで外出・面会禁止等厳しく管理されていますが、病院への送り迎え、買い物代行で不便はありません。

朝起きると、さっとシャワーを浴び、食事までに80分運動します。（廊下を歩いたり、色々な体操）

午前中は新聞を、午後はいろいろ読書三昧。今は渋沢栄一さんの「論語と算盤」を3回目、私より88才年上で91才まで生きられた方、

学ぶところ多くとてもおもしろいです。

テレビは橋田壽賀子さんの死亡を伝えていきます。私より3才年上で、お互いモンペで青春を送ったものです。

「一人が一番頼らず期待せずわがままに」が思い出されます。価値観の共通点がいくつかあって懐かしいです。

お世話様に相成りありがとうございます。

#### 田淵 修三（松山市 H29年退）



平成29年に完全退職してからもう5年になります。電電四国野球部を経て、ずっとボーイズリーグの子供たちに指導を続けています。

現在は出身地の大洲（長浜）で長浜ボーイズの代表になり日々練習に頑張っています。また、長男が松山フェニックスの監督になり親子二代で野球に励んでいます。今後とも長浜ボーイズと松山フェニックスを応援してください。

皆様のご健康を祈っています。

#### 玉井 健司（松山市 H24年退）

今年4月に雇用延長になった再就職先の損害保険会社を66才で退職し、今は損害アドバイザーと言う肩書で自宅近隣の代理店で週4日勤めています。

思い起こせば電電公社入社以来35年間勤めました。その間、熊本・東京・大阪と自宅松山を拠点に今治・大洲・高松・高知と17回も転勤していました。2年ペースの在職期間ですが共通から営業へと同じ業務内容はなく、その間に知り合った社員の方々は何

千人もなろうかと思いますが、9年間同じ職場で同じ仕事を続けてみて、NTTで経験した楽しい思い出が懐かしくよみがえる今日この頃です。

**玉井 隆**（砥部町 H4年退）



創立50年おめでとうございます。

記念すべき年に米寿を迎えることができましたこと、二重の喜びを感じております。

お祝いありがとうございます。

88才とは我ながら驚きです。

ふる里河辺を後に、息子家族の近くに家を構え12年が過ぎました。週1回のデイサービスを楽しんでいましたが、4月からはお休みしています。ワクチン接種の予約が出来たので6月から行けそうです。5人の孫たちの健やかな成長を願い、再会の日を待ちながら、妻と二人、次はダイヤ婚を目指して、のんびりと季節の移ろいを感じ穏やかな毎日です。

最後になりましたが、会長さんをはじめ役員の皆様に感謝申し上げ、会員の皆様のご健康をお祈りいたします。

**垂水 秀夫**（松山市 H3年退）

本欄4度目の出番。どうやら貧乏籤の運だけは強いようです。

80才も半ばを過ぎ、永年携わってきた外国人向けボランティアを引退。松山市国際交流センターの情報誌「what's going on?」に10有余年、毎月書いてきたエッセイも本年は四半期毎とし、年末には終止符を打つ予定。

また、20年続けている10名ほどの勉強会

も今年限りで結びとし、これからは家事全般に専念しつつ宇宙の塵になる日まで無宗教のまま一日一日を大切に生きていこうと思っています。

**梅村 基文**（今治市 H23年退）

四国電友会の創立50周年おめでとうございます。今から50年前1971年の2年後、電電公社に入社しました。当時電話は、付けてあげるもの、世のため人のための仕事でした。

社員も個性が強い人が多く、社内も付き合いが第一で、色々な行事があり、世の中の時間もゆっくり動いている感がありました。

平成23年に退職し、以前から目指していた行政書士事務所を開業し、遺言・相続など街の法律家として、新たに、世のため人のための仕事をしています。

**辻田 則夫**（松山市 H19年退）

毎日サンデーの自分には1日1週間が経つのがすごく早く感じています。

最近、親友（球友）を次々と失い、淋しい限りですが、自分はテニスを日課として出来ることに感謝しています。

しかし身体の変調、衰えには勝てず70才を過ぎてからは肩腱板、足の負傷に泣いています。80才過ぎまでテニス、好きなゴルフを継続してプレー出来るよう身体をケアしながら楽しみたいと思っています。

**堤 高数**（板野町 H4年退）

平成4年（1992年）NTTを退職した。振り返ると、26年の歳月が流れている。早期退職後、NTT関連の電気通信共済会で、ケースワーカーを担当したり、NTTドコモでもお世話になった。

NTT時代、単身赴任や家族同伴の生活を含め、10年間松山で過ごした。思い返せば、在職中一番懐かしい。

四国電気通信局では、仕事以外に松山は俳都、局内に俳人が多く、有佳里（ユーカー）俳句会に入り、俳句に熱中した。

自由律俳人種田山頭火終焉の地となった一

草庵も訪ねた。当時、休みには、家族で奥道後へ行き、温泉に入ったり、映画を観た。

この時代、私は創作活動も続け、地元徳島新聞募集の懸賞小説に応募し、入選。多額の懸賞金を手にした。

小説の題が「邪馬台国は阿波だった」で、地元で話題となり、のち単行本で発売し、完売となった。

**堤 俊文（松山市 H19年退）**

皆様方、ご無沙汰いたしております。

入社して47年になり、これまで大病もなく、不健康な生活を過ごしておりました。

しかし2年前に脳梗塞（延髄）を発症し、3カ月入院しました。入院中は、先生や看護師、そして妻の介護がつくづく身にしみて有難く思いました。おかげさまで、麻痺もあまりなく、今は健康的な生活を過ごしております。

これからの人生、少年剣士を育てたいと思っています。



剣道大会

**土居 さわ子（松山市 H24年退）**

最近物事をよく忘れるようになった。しまい忘れや何処に置いたか探し廻るのはしょっちゅうになってしまった。年の故と言えばそれまでだが、自分としては「何で？」と思ってしまう。

している事に意識を向け、集中するように気を付けてするようにしたところ、探し廻ることが減ったような気がする。自己満足かもしれないが・・・？

以前、年を取ると「教養」が必要とのことで「行くところ」「用事」を見つけていたが、何も無い日でも無駄な日はないのだと気づかされた所以だ。

時間を気にしないで良い毎日だけど、生産性のない一日でも丁寧に感性さえあれば無駄ではなく有意義な一日になるのだと思って、このコロナ禍の時期、感性を磨いている毎日である。

**富田 等（東かがわ市 H13年退）**

昨年7月に孫が生まれました。平日は孫と一緒に生活しており、毎朝孫の笑顔で私の一日が始まり、寝顔を見て一日が終わる・・・想像もしていなかった私の人生で最高の時を味わっています。大好きなゴルフも孫の次になりました。（笑）

私が住んでいる東かがわ市では老人クラブの会員の皆様から「昔農協、今電々」と言われる様に、NTTグループのOBの方々各各地区の健全な発展に貢献していることを報告させていただきます。

コロナ自粛の今皆様ご自愛ください。



未羅です。1才になりました。

中島 鳥山 (鳴門市 H19年退)

今年度中に77才になる独居老人ですが犬達2匹と元気に暮らしています。

春から秋は海で魚と遊び、冬場は山でイノシシと知恵比べです。

退職後から始めたイノシシ罾猟も13猟期で、大小562頭を括る。(証拠写真はブログに有り)。令和2年度は67頭捕獲し、農家の人が喜んでくれています。

コロナ禍の昨今でも海や山は人に会わないので安全です。あと4年、体力が不安ですが現役猟(漁)師を続けたいと思います。健康であれば、金は無くとも、どうにか趣味で楽しく生きていけそうです。



2021年1月捕獲 120kgの猪

永野 定子 (四万十市 H4年退)

新型コロナウイルスの流行もまだまだ収まる様子もなく、心穏やかに過ごせない毎日ですが、皆さんお元気でお過ごしでしょうか。

現役時代共に頑張った皆さんの顔を思い浮かべながら筆を執っています。

退職を迎え過ごした時間も振り返れば四半世紀が過ぎました。嬉しい事、悲しい事、色々経験し、人並に顔のシワ、体型・・・気になるところばかり増えてしまいました。

でも年齢を重ねたなりに美しく若く元気に生活したい！！と日々努力？して楽しい毎日を送っています。

六十の手習いで始めた日本舞踊。86才となった今でも続けてお稽古をしています。(8×6=48気持ちは48才です) 今年手解きをして頂いた先代お師匠さんの13回忌と二

代目さんの芸歴30周年の記念舞踊会が開催されることになり、私ももう一度舞台に立ちたいと思いお稽古に励んでいます。(これが最後と何回言ったことか) 年齢を考えると大きな舞台へ立つことへの不安は消えません。“引き際の美学”という言葉もあるようですが、年齢のせいにして諦めるのも悔しいですね。“いくつになっても挑戦する”という気持ちが今の私の支えの様な気がします。まだまだ頑張りたいと努力する事が“人生の華”なのかもしれませんね。数年前、長年連れ添った主人が天国へと旅立ち今でも寂しく悲しみは薄れません。

しかし残された時間は主人からのプレゼントかな・・・。私が元気で有意義に過ごすことが主人への供養かと思い感謝している今日この頃です。

皆さんもお元気で！



中村 秋子 (いの町 H1年退)

近くのスーパーマーケットで二日に一度、食品等を買っています。

そして週3回遠方にいる家族に電話をしています。

一カ月に一度病院へ行きお薬をもらっています。

週に一度デイサービスにも通っています。

永易 喜久雄 (新居浜市 H10年退)

今、新居浜で俳句中央雑誌「雪解」の愛媛地区として8名の構成員(新居浜6名、大洲

2名)で月1回開催しています。

70年の歴史の中で愛媛地区は多くは百名超の会員を有していましたが、増減の繰り返して現在に至っております。

また、囲碁についても名称「天元会」と称し現在9名の会員で月1回の開催で頑張っているところです。上は6段、下は2級で和気あいあい楽しんでいます。

(俳句3句)

八月は祈願の月と僧の云ふ  
積年の病み抜く総身薬の日  
長者に扇手遊び(てすさび) 夕薄暮

#### 中山 善嗣 (吉野川市 H21年退)

喜寿を迎え、年相応に体力の衰えは実感していますが、概ね健康に過ごしています。

退職後すぐ、徳島県のシルバー大学や大学院に学び、旅行や軽いスポーツのOB活動に参加し楽しんでいます。

また、ボケ防止と体力維持のため短歌作りとグラウンドゴルフ・散歩をしています。短歌は歌会参加と新聞などに投稿します。グラウンドゴルフは、一人での個人プレーが多く、時々、穴吹や塩江の公認コースで大会に参加します。これらを楽しみながら、ピンピンコロリを目指しています。

#### 南條 寿子 (松山市 S47年退)

ステイホームをしているこの頃、体型が変わり歳をとったと痛感しました。

自宅では、コロナ禍になる前から行っていた趣味・・・テレビのドキュメンタリーの録画を見る、残しておきたい番組はDVDにダビングする、パソコン教室で習ったことを時々復習する、息抜きにトランプゲームをするなどの他に、今まで出来なかったことを何かしてみようと、スカートのお直しや洋裁を始めています。

これからの人生をワクワク・ドキドキする気持ちを忘れずに、前向きに生きていきたいと思います。

#### 思い返せば

新谷 清二 (高知市 H24年退)

思い返せば、47年の現役時代から5年。苦しい時や悔しさで「胃の痛み」を感じた時期、楽しい時期、楽しさを感じた時期。

疲れて、身体は“ヘトヘト”になっても気持ちだけは楽しく感じ「やったぁ！」と達成感でいっぱいだった時期。その時期ごとに、思い出すのは、お世話になった先輩や同僚の顔。

いつの間にか「古希の年」になった。昨年からは歩くことを控える状況になった。

一人ひとりの“顔”を思い出しながら取っておいた写真や資料の整理をしています。

今の時期“コロナと暑さを乗り切ろう”

#### 西岡 尚夫 (東温市 H29年退)

2回目のコロナワクチン接種を終え、安堵している私の近況です。

昨年4月、知人に櫻の木があるので薪にしたいと言われました。それからの週末は、一日中、山に行き、チェーンソーと斧でストーブ用の薪作りをして過ごしています。その山では時折、野兎や狸を見かける程度です。その恵まれた自然環境下で、週末を楽しく過ごしたお陰で、高齢者となった今も健康をなんとか維持できています。

#### 西崎 力 (松山市 H28年退)



西崎家の初孫（男）が誕生しました。待ちに待った初孫ですが、コロナ禍のため、残念ですが、まだ会えない状況のためライブ通話で初対面しました。妻と私も孫が何とも可愛くてたまりません。一日も早く会える日を楽しみにしている今日この頃です。孫のためにも健康第一で頑張りたいと思っています。

なお、初孫のお宮参りの写真を披露させていただきます。ジジバカですがご容赦くださいませ。

#### 西谷 哲也（松山市 H22年退）

その昔剣道で全国旅行が出来ないか思案した職員がいた。そこで11通信局が持ち回りで全国大会を開けば毎年剣道大会と称して旅行が出来ると考え、全国の剣道愛好職員に声を掛け始めたのが通信局対抗の電電公社全国剣道大会。当初の目論見通り（慰安旅行を兼ねた？）大会は各通信局主管で順調に続いた。

廻り回って平成13年に3巡目の四国の番が来た。しかしその時既に公社は民営化分社化され四国の部員もバラバラ。たまたま部員が複数人いるということで香川支店主管として実施することになった。大会運営の何が大変かと言えば持株を始めグループ各社の社長や役員が多数参加されるのである。それを受け入れる側がどうなるかはご想像の通り。剣道部員での対応は無理で普段剣道とは無関係の支店管理者の方々に対応をして頂いた。

お蔭様で大会は大成功。NTT西日本香川支店の底力を持株はじめグループ各社に大いに示したのであった。一昨年で52回を数えるこの大会で地方の1支店が主管として開催したのはいまだに香川支店だけ。

因みにこの時四国チームは女子団体が優勝したが、大将のY選手は世界大会で全日本チームの主力として活躍し世界一になった。近年は有力選手が首都圏のグループ各社に入社しNTTチームは全日本実業団剣道大会の優勝常連チームに成長した。

第1回から半世紀余りが過ぎ慰安旅行目的？で始まった大会は、会社対抗のNTTグループ全国剣道大会と名を変え実業団有数の選手も多く競うレベルの高い大会になった。

また旅行は、大会とは関係なく国内どころか世界中を飛び回れる時代になったが、剣道具を担ぎながら旅したあの頃が懐かしい。

祈早期ウイルス退散。



記念手拭い

#### 西野 信男（徳島市 H18年退）

広島に原爆が投下される数日前、板野郡川内村に生まれ、最早76才、長生きしたものです。

今、最大の至福の時間は夕刻5時から30分間です。美味しい二合五勺の晩酌です。妻から身にささるお叱りも、グッとこらえて酒の肴としております。それ以外は体力・気力等すべてが急降下中。

体力維持のため尺八・吹き矢・グラウンドゴルフに励んでおりますが、生活に充実感がない。そんな時、恐れもせず「チンドンクラブ」に飛び込みゴロス太鼓・尺八を担当し、ボケ防止に努めています。

#### 西本 徹男（松山市 H17年退）

退職して17年経過しました。

最近足腰の衰えを感じ40年続いたゴルフも休んでいます。田舎へ行って畑の仕事をしています。

春はワラビやゼンマイ採り、茶摘みをし、彼岸には、じゃが芋やブルーベリーを植え5年になり、ようやく実が付き収穫できるようになりました。猪に猿やハクビシンと人間より先にとる動物がいて困っています。足が動くうちは頑張ろうと思っています。

#### 二宮 治夫（砥部町 H6年退）

祝！創立50周年、お世話役に感謝しています。NTT大変化時代に突入。かつて沢田社長は本社内で分割反対の論陣を張ったと

か、注目しています、経済各誌は「NTTの逆襲」とか光技術の活用で公益公共の公的一元化NTTの反撃と大きく取り上げている。GAFAに負けず世界一を目指すとか期待している。

(近況) 米寿を頂き感謝！高知の友人達と南海トラフ災害時の通信対策の会、松山働く者合唱団長など元気に暮らしています。

#### 野本 峰夫 (松山市 H22年退)

シルバー人材センター(剪定班)で働き始めて、早や4年目です。退職後、自宅の庭木の手入れを自分でやり始めたのが入班したきっかけです。

コロナ禍でも、剪定や伐採の依頼はかなりあり、夏場から年内にかけて忙しくなります。

日焼けで真っ黒になり、家内から「見苦しい」とよく言われますが仕方ありません。

コロナが終息して普通の生活に戻るのを願いつつ、持病と付き合いながら仕事と趣味に勤しみたいと思っています。



庭木の剪定中

#### 「約50年」

橋田 敏朗 (今治市 H17年退)

電友会50周年おめでとうございます。

完全リタイアして5年、採用されてからは48年が過ぎ、電友会の歴史に近い年月を過ごしてきました。

最近、地域の世話役等、必要以外の外出は控えていることもあり、前々から気になっていた家の中、外の断捨離を進めています。

昨年正月以来会えていない、よちよち歩きだった一番下の孫が、最近ではトランポリンをしているとのことで、1年半の早さを感じています。

5月上旬の2週間ほどは、自分達夫婦と叔父夫婦のワクチン予約で、血圧が少々高めになりましたが、妻と2回目の挑戦で約2時間費やし、とりあえず心穏やかに戻りました。子供が心配して代理予約をした等のニュースも聞きましたが、我が家には連絡なし。今は6月と7月の2回の接種を待つばかりです。

先日、新居浜を通ったとき支店ビルの後がラーメン店になっていました。入社時の配属局で窓口業務等を担当し、ダイヤル電話を優先設置順位に従って申込受付をしていた時代です。あれから約50年。現在住んでいる今治も支店から人影がなくなり、世の中にリモートワークの言葉が当たり前のように使われる時代。技術の進歩、年月の経過を感じています。

最近、テレビで公衆電話の設置見直しのニュースを見て、テレホンカードを思い出し、探したが見つからず・・かなりの枚数を集めた(買わされた?)はずなのですが。

公衆電話の使い方を知らない子供が増えていくというニュースも聞きましたが、似た話があります。我が家の納屋にダイヤル式の黒電話がブランチでついているのですが、孫がどうやって使うのか不思議そうにしていたので、「押す代わりに回す」と、教えて使わせると「オー！」と感激したのにはこちらが驚きです。その孫とはスマホでLINEの相手をしてもらっています。

これが50年という年月かもしれません。

早くコロナが終息し、自由に外食、旅行ができる日常が戻ってきてほしいと願っています。

す。次の電友会60周年・・・と言いたいところですが、とりあえず55周年を元気で迎えられるように節制していきたいと思えます。

**馬場 清 (松山市 H6年退)**

全国的に新型コロナウイルスは衰えることなく猛威を振るっています。

ここ松山では街中はもとより、電車の中も市民は必ずマスクをしています。私も外出時はマスクをし、帰宅した時はうがい、手洗いをすることに努めています。

早くコロナ感染が落ち着いて、人と会ったり、図書館へも自由に行けることを願っています。

**濱田 良彦 (高知市 H28年退)**



甲子園のマウンドで

今年3月末で退職、週に2回程、母親の世話を兼ねて畑仕事を手伝う日々と、週1で、仲間と楽しい野球に汗を流しています。

還暦野球「おじいちゃんの甲子園大会」が「聖地 甲子園球場」にて開催されることから、「一緒に野球をやらんかや」と誘われ年甲斐もなく、自分の力がどの程度全国で通用するか確かめたく参加することとしました。

地区予選・全国予選に勝利し、45年ぶりの甲子園のマウンドと高校球児の青春物語としての報道ステーションにて取材を受け、高校時代と違って心地良い緊張感を味わいながらも7回完投し、勝利に貢献することができました。

最近、肩や膝の痛みを抱え病院通いをしつつも、おじいちゃん達（平均年齢67才）

と共に、日本で開催予定の世界大会で勝利し、美味しいお酒を味わうためにも、もう少し頑張ってみようかと思っています。

**廣瀬 功 (徳島市 H13年退)**

平成13年3月に早期退職をして20年近く過ぎました。

退職時には体重過多が気になり運動と食事を考えて少しずつですが、減量作戦、現在では69kgまでになりました。血圧が高いのが心配ですが平穏な毎日を過ごしています。

また、19年間頑張ってきた地域でのボランティアも来年で定年を迎え時間の余裕もできると思われます。今まで以上に健康面に気を配り趣味を見つけて余生を過ごしたいと考えております。

**弘瀬 博司 (松山市 H13年退)**

平成13年3月にNTT西日本を退職し、ドコモで5年間お世話になり60才で完全フリーになりました。その後縁あってNTTアセットの山越ゴルフガーデンで3日に一度の短時間アルバイトを11年余りさせていただき今年3月末で辞して日暮しの日々です。

4月に入り電友会から喜寿のお祝いが届きました。大変有り難いことですが、もうそんな年齢になったのかと驚きです。仕事と遊びに夢中だった20才代には、まさか自分がこの年齢まで生きているなんてことは想像できませんでした。

電友会や退職者の会報の訃報欄に同世代やお世話になった先輩の名前を散見するようになると次は自分の番かなと思いつつも、天国の神仏、地獄の閻魔様に、もう少しの間、菜園やゴルフを愉しみ、巨人軍の勝利、大谷選手の活躍を見せて欲しいとお願いのこの頃です。

## 私の思い出・近況など

藤原 章弘（高知市 H12年退）

創立50周年おめでとうございます。当時は自動ダイヤル化最中で、通信網の構築に県内に出向いた。今でもそれらの地に立つと、お世話になった先輩や仲間のことが歳月を超え思い出し至福の一時を過ごします。

しかし忘れ難い思い出は、幾多の台風災害後の悪条件下で一丸となつての復旧作業でした。被害の顕著な台風はS50年5号で、仁淀川流域の洪水により多数の交換所の浸水流失が発生。多くの人命も失われた。日高交換所で1カ月の出来事はとても貴重なものでした。

私の近況は、体調は経過観察項目もあり、医者とは友好状態です。日常昼間は横になることなく、膝修理中の家内の執事として外回り色々や、孫のドッジボール応援で短く感じる毎日です。

細川 充（松山市 H20年退）

令和元年、孫が2名増え4名（松山：1、高松：2、松本：1）となり、にぎやかで大変喜んでおります。

令和2年、松山にいる娘から依頼があり、孫の子守りを週2～3回（1回は保育園の迎えもあり）するようになりました。徐々にありますやうと存在価値が出てきております。

また、コロナ太り・運動不足解消のため、スポーツジムを止めた12月からウォーキングで城山に週3回程度登って汗をかいております。

コロナ禍で巣ごもり生活を送っていたこともあり飲酒の方は少し弱くなりましたが、早くワクチンを接種し、全国的にコロナ感染状況が収束すれば、松本にいる娘と孫に会い温泉が多い信州に旅行したいものです。

真木 信雄（松前町 H21年退）

退職して10数年経ちましたが、これと云ってすることもなく、趣味として、妻とのドライブ、国内外の旅行、読書等を楽しみに過ご

しています。その間、67才にして大病をし、半年間の入退院を繰り返し、今は元気で暮らしています。

現在は、地区からの役員の依頼があり、数年役員の方々と一緒に色々な催し等に参画しています。

また、行政からの依頼で、令和元年から5年まで、地積調査事業の推進委員として、地区の地積を行政の方と一緒に調査を行っています。

松本 良雄（松山市 H1年退）

この春米寿のお祝いを頂きありがとうございました。長寿など他人事だと思っていたので感慨も一入です。

年相応に元気だと思っておりましたが、加齢とともに不具合箇所も増えてきました。

15年前に発症した腰痛は小康を得ていますが、再発のリスクは高まっています。

庇い過ぎず侮らず付き合っていければと思ひ、毎朝30分のストレッチの他、週3～4回のグラウンドゴルフと月2～3回の山畑での家庭菜園を夫婦で楽しんでいます。

好きを楽しみ体を動かしているうちに徐々に痛さも忘れたようです。

発症時は歩行不能で難儀しましたが、医療とこれらのおかげで持ち耐えています。

継続は力・体の復元力も大事です。

美崎 敏昭（松山市 H26年退）

「お客様の喜びが、私たちの励みです」をモットーに一日が始まります。

不動産会社、株式会社ユアパートナーズを起業し11年目を迎えます。夜間の大学で司法書士のY氏と出会い、資格取得の勉強会を発足させ、仲間と共に資格取得に励みました。

現役当時は、上司・同僚・後輩に恵まれ、通信教育、業務改善、海外研修等限らないスキルを学ばせて頂き、今の仕事に大変役立ち感謝しております。出勤前の少しの時間、古書店で集めた書籍をめくり、元気を吸収しています。少子高齢化が進み、空き家問題・相続等による不動産の処分の相談が多いです。

弊社の強みは、司法書士、土地家屋調査士、

行政書士、一級建築士と連携し、ワンストップで対応できることです。好きな言葉は「楽あれば苦あり、苦あれば楽あり」です。



全日本不動産協会「台湾不動産視察ツアー」

水口 豊（今治市 H24年退）

電友会四国地方本部の創立50周年おめでとうございます。お慶びを申し上げます。

50年前は入社2年目で右も左も解らない19才でしたが、早いもので気がつく退職して7年が経ちました。

最終の勤務地は出身地の今治で、20数年間の単身赴任生活に終止符を打つ事ができました。

今治電報電話局と言え、NTTの歴史上にも非常に数奇な出来事が昭和20年4月26日に起こっています。皆様はご存知でしょうか？

当時の今治郵便局の電話交換室で執務中の職員29名の上空で米軍機が投下した爆弾がビルの屋上に直撃し、16才から21才のうら若き女性職員10名の命が奪われるという極めて悲惨な出来事がありました。

我々電信電話事業の大先輩でもあります皆様が、「国の重要回線確保のためにギリギリまで働いていて犠牲になったという志を決して忘れてはならない」との思いから昭和63年当時の今治電報電話局長が、当時を知っている仲間達に集まって頂き、「亡くなった10名の乙女の結び得なかった夢と願いを風化させず平和を守り続けよう」と戦災記録「花しずく」を作成しました。

また、想いは局舎の敷地内に建立された慰霊碑にも込められています。

当時の記録を見ると昭和36年当時の今治局長が中心となり慰霊碑の建立を行っていただきました。

「題字」は当時の大橋八郎総裁に書いて頂いたそうです。



慰霊碑清掃



慰霊祭

今治局長は12月26日の除幕式において、「やがて当時の職員が居なくなっても、今治局は尊い生命をかけた殉職者が守ってくれているのだろうという・・・(中略)・・・必ず命日にはお花を誰となくあげられるようになることを祈念しております。」と述べられています。

この想いが令和3年の現在どうなっているかといいますと、お花はN T T西日本が毎週金曜日に購入してくれており、それをOBが花店に取りに行行って供え替えるという方法で続いています。

また、毎年4月26日にはN T T西日本と当時の同僚、OB有志で慰霊祭を行っています。

その4月26日の慰霊祭と秋にはボランティアでOB有志によって慰霊碑周りの植木の剪定と清掃を行うなど、なんとか当時の皆様の意思を繋げて行っています。

さらに平成20年からN T T今治ビル近隣の今治小学校からの依頼で「戦争体験を学ぶ授業」の一環として6年生を対象に読み聞かせ授業も行ってきました。

しかし、昨年、今治ビルにN T T西日本の組織が無くなったことを最後に現在は行っていません。

私自身の身体は何とかそれぞれの臓器が赤点のボーダーラインギリギリで辛抱しており、病院の世話にはなっていないので、大好きなお酒も週4回(金～日と火)と頂き、下手なゴルフは月1.5回のペースで行っていますし、ボケ防止のために競馬の勉強もしており、もう少しの間元気でOBの皆さんと一緒に慰霊碑周りのお世話が出来たらと願っています。

今治以外の皆様も今治へ来られた際には是非N T T今治ビル西側の慰霊碑に立ち寄ってください。

最後に、未来永劫平和が続くことを切に願っています。

**水崎 吉彦 (松山市 H3年退)**

直ぐつく電話、積滞解消を目指し大量の局舎、鉄塔建設に邁進、昼夜汗を流した公社時代。効率化追求と質的高度化推進のN T T時

代。テレカ、ポケベル、ケータイ、スマホと進化発展し続けている。

退職して30年、健康維持に卓球を、趣味の油絵は20数年愛媛県展に連続出品中。痴呆予防のギター個人レッスンは20年余り。仲の良い4組の夫婦と年数回国内外の旅を続けて10数年、今はコロナで近隣の保養を楽しんでいる。

東雲地区の町内会長の中では最高齢であるが地域のお役に立てればと頑張っている。

### そろそろ終活準備？

宮居 一夫 (松山市 H16年退)

海外ニュースで知った程度の中国のあのコロナ騒ぎが今や世界中を大きく変えることになるなどと「一寸先は闇」の言葉通り、本当に先の事は予想もつかないものですね。そんな中で、早いのか遅いのか分かりませんが、そろそろ終活準備に入る頃かと考えています。

この手の参考本もたくさん出ているようで、少し勉強してみたいと思いますが、とにかく、まずは捨てることから始まると聞きました。

半世紀以上に渡り溜まったレコードやCD、楽器等々、整理するのに何年も掛かりそうです。良いアイデアがあればご指導お願いいたします。(電友会会員限定のフリーマーケットなんて如何でしょうか?)

### 子供たちの見守り活動

宮繁 正志 (阿南市 H14年退)

「自警団・はのうら」(羽ノ浦町の地域の安全を守る会)という少々時代錯誤的なネーミングのボランティア団体に参加して3年目になります。

会員数は100名程ですが事務局長として年に一度、議案書の作成や活動報告を行っています。

日々の活動として、青パトカーによる地域の巡回パトロール、小学生の通学時の見守り活動を行っています。

私は見守り活動を重点的に行い、登下校時の立哨活動を毎日続けています。転んだ子の

手当てをしたり、忘れ物をして泣いている1年生の面倒を見たり、「おじいちゃん」と呼ばれ苦笑いしたこともありました。

子供達からも毎年感謝状の文集が届けられ「挨拶ができるようになりました」「学校へ行くのが楽しみになりました」等が綴られて、大きな励みとやりがいにもなっています。

子供達とのふれあいや日々の成長を感じることも楽しみです。仲間達も「子供から元氣をもらっています」と一様に話します。子供達が事故に巻き込まれないように細心の注意を払いながら、この活動を生涯続けていきたいなと思います。



見守り活動

#### 宮本 隆美 (徳島市 H21年退)

ドコモサービスを退職後、徳島市方上町で家の農業を継ぎ、現在までスダチや野菜等を栽培して、元気に暮らしています。

趣味は、セッコクの鉢植えを100鉢程育てており、毎年、赤・白・黄色の花を楽しむと共に、インターネットで囲碁もしています。

ボランティアとしては①町内会理事長(450戸)②農地・水協議会会長③神社(3カ所)の総代・役員④徳島市農業委員会等の仕事をしており、毎日が早く過ぎていきます。しかし、体力・気力・知力の減退は隠せない!

#### 「楽しかった旅の思い出」

三好 繁義 (松山市 H20年退)

近所にセレクトショップを開いている知人が案内してくれるということで、2016年9月3日～11日までの9日間ハワイ旅行を楽しみました。ANAの夕方便で松山を出発して羽田空港発でとてもスムーズなフライトでホノルル空港まで迎えに来てもらいました。

オアフ島一周は、海が美しくて素晴らしいです。その中でも今回紹介するラニカイ・ピルボックス・トレイルは、天国の海を意味する美しいラニカイビーチを見下ろす、まさに絶景のトレッキングです。場所はオアフ島の東、人気観光地カイルアに隣接し、ワイキキから車で約30分の距離にあり、最初に足場の悪い急斜面が続きますが、5分ほど登れば視界が開け、目の前にエメラルドグリーンの海が広がります。なだらかな道が続き、山頂のピルボックスまでは片道約30分の行程です。

きれいな海に感動します。また、コロナが落ち着けば行きたいです!



ハワイの美しい海

三好 幸光（綾川町 H20年退）



今は妻と二人暮らし、朝から晩まで顔を合わせているのでつつい口喧嘩もします。

普段は7反弱の稲作と趣味のゴルフです。月に4、5回ラウンドして、昨年4月には3回目のホールインワンを達成しました。

地域では羽床公民館の役員として、運動会、夏祭り、文化祭等の手伝いをしていますが、この2年はコロナ禍でままなりません。

これからも健康に注意して、80才くらいまではゴルフを続けたいと思っています。

森 明德（徳島市 H21年退）

昨年の4月脳梗塞に見舞われ、1年間リハビリに励みましたが、まだ後遺症が左手足や口に残り、多少不自由な生活を余儀なくされています。幸いにして右側は健康なため、日常生活や自動車の運転に支障がないのが何よりです。

原因は昼に畑仕事をして喉の渇きを感じたにもかかわらず、水分を取らなかったのと、その夜、左手足の異常に気付きながら早急な対応をしなかったためかと反省しています。（夜中でも救急車で病院へ向かい、血栓溶解の点滴を処置していたらもう少し軽かったかも・・・）

日頃は時節柄、外出を控えパソコンのユーチューブ閲覧で各種知識の吸収、グーグルアースで世界各地の訪問、フライトレーダ24で世界の民間航空機飛行経路調査等を楽しんでいます。（フライトレーダ24でネット検索すれば無料で使用可能）

会員の皆様も脳梗塞には十分注意され、健康でお過ごしください。

森 俊一（松山市 H14年退）

ドコモを退職（平成14年）して早いもので、10年が経ちました。

退職してすぐ4月から農業団体の役員として、月・水・金と勤務し、農業耕作者の支援業務をしています。後継者不足で、なかなか退くことができません。

残りの日々は、畑で果樹・野菜を栽培し、余った野菜等は近くのスーパーの産直市に出荷して結構忙しい日々を送っています。

子供たちは巣立ち家内と二人で、余生を過ごしていましたが、今年の4月からは、孫が松山の大学に通うこととなり、これから6年間、家内と3人の生活を送ることとなりました。

小さな病気はチョコチョコします、これからは健康な体で少しでも長く人々とも交流し、有意義な人生を送りたいと思っています。

森國 幹夫（坂出市 H19年退）

東京オリンピックが開催された年の1964年4月に入社して2007年3月に良き先輩、同僚、後輩に恵まれ無事卒業しました。

日々の過ごし方は高校時代から楽しんでいける趣味のアマチュア無線を主に従は家庭菜園と毎日の散歩で地球一周4万kmを目指し、現在は2万6千kmです。

人間ドックで車検？を受け修理しながら、夫婦で共に100才まで元気で、あとはコロリと逝ければこれ程の幸せな人生はないかと思いつつ・・・。

森田 彬敬（鳴門市 H6年退）

今こそスタート。毎日の生活から様々な思いつき等によってあらゆる心の準備をしておく必要があります。自分が今後も維持したいものは何か、改善すべきことは何か、活力他、何を新しく獲得するかを整理して自分らしい目標を明確化し、日々の行動を具体的に变容させることです。

自分のライフキャリアは自分でデザインし、構築するライフキャリア自立が求められているのです。そして死に至るまで人生を共

にし、最後まで連れ添うパートナーは、他にもない「自分自身」であり、「育自」に終わりはないのです。「生涯育自」を大切にし、少しでも自分らしく豊かに過ごすことが到達目標です。

**森本 隆夫**（大洲市 H13年退）

退職して早くも20年を迎えました。以来、地域の小さな神社15社を兼務する神職宮司として努めています。

毎朝6時に起床して、主なる神社5社の朝拝を済ませて一日が始まります。朔日と15日には兼務神社すべてに参拝します。昨年来は「新型コロナウイルス」退散祈願の祝詞も奏上しています。

また、退職後に「整体」を学び仕事として継続しています。とは言え、余暇には、春は栲原町で溪流のアマゴ、秋には肱川で「落ち鮎」漁等を楽しんでいます。元気に人生を楽しんでいます。

**柳原 寛信**（松山市 H18年退）



松山城



お堀の白鳥のヒナ誕生

四国電友会の創立50周年に当たって、自分自身の50年を振り返り、それを記念号に寄せることとしました。

現在、私は70才です。四国電友会が発足しました昭和46年は大学3年の時で、ゼミが始まり専門分野（交通論を選択）について研究・調査を行い最終的には卒業論文につなげていくのですが、私はもっぱら週1回のゼミが終わった後からのコンパが楽しくて、ひたすらコンパの開催場所（当時はお金も無いため学校近くにある公民館等）の確保や酒類とおつまみの調達に奔走していたことを思い出します。

そのような2年間を過ごし無事卒業論文を提出し昭和48年3月に卒業することができました。

昭和48年4月に日本電信電話公社近畿電気通信局の採用となり4月1日に大阪フェスティバルホールにおいて新規採用者3000人規模の入社式が行われました。

勤務地は大阪東地区管理部管内にあり奈良県に隣接している大阪柏原電報電話で、仕事は営業課料金担当でした。

料金担当では主に訪問督促が主で収納率100%を目指して当時は社用車にエアコン等付いてなく汗まみれになり反社会勢力のお宅にも勇気をもって督促に行っていたことを思い出します。

料金業務を2年経験した後、加入業務に従事することとなり、当時、加入電話の新規設置は架設説明会を開催して行い、説明会が終わればサービスオーダーを手が青いデュプロのインキで染まる位、書いていました。

その柏原電報電話局に昭和56年3月まで8年間在籍し、56年4月から大阪柏原局の上司で営業課長のMさんから「四国に帰りたなら現場の電話局にいるより通信部に行った方が帰り易いよ」と言われ、縁があってそのMさんが会計課長で赴任された大阪搬送通信部に異動することとなりました。

大阪搬送通信部では会計課主計係に配置され近畿管内の47中継所の予算の策定と進捗管理を行い、月1回程度管内の中継所へ現金監査に行って各地の名物（宮津の殻付き雲丹、和歌山の目張り寿司、滋賀県長浜の鮎ずし、奈良の柿の葉寿司等）を堪能したことを懐か

しく思い出します。

そして入社時から希望していた四国への管外転用が昭和59年の3月に決まり、3月28日で高知電報電話局の人事係に配属されました。

初めての共通系の業務でしたが同じ係のFさんやNさんから優しく基本給の制度及び定期昇給の切替やサービスの業務等をご教授して頂き、職場にも溶け込むことができ、また、よさこい囃子踊りでパレードに参加したこと等とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

翌年の昭和60年4月1日、丁度電々公社からNTT民営化が行われる時に高知電気通信部職員課に異動、その年の8月に私の社会生活に大きな影響を頂いたKさん（中学・高校・大学の先輩）と数年後に机を並べて仕事することになったIさんと一緒に当時の採用試験で使っていたクレペレイン検査の研修を広島で3～4日間毎晩四角いテーブルを囲むもとも忘れず受講し全員合格したことを思い出します。

職員課では主にサービスの仕事に携わり高知管内10を超える電報電話局のサービス点検等を行いました。翌年に支社の見直しにより職員課が無くなり総務課に配属され、そこで給与の支給事務と基本給制度の仕事がメインとなり昭和62年からの職能資格制度導入に伴う基本給点検で高知管内の約2000名強の基本給を管内の係長数名の方々と点検したことが記憶にあります。

昭和62年3月に土佐中村電報電話局労務厚生課に転勤となりました。中村局での思い出は夏祭りの山車となる提灯台（提灯で飾った神輿）を作り、街中で台を回しながら練り歩いたことや昭和63年に開通した瀬戸大橋を題材にしたテレホンカードをB局長指導の下に作成し、その販売に取り組んだことや労使関係のノウハウをご指導頂いた今は亡きH次長とPU化（四国で50を超えて所在した電話局を13拠点に集約）の準備に汗を流したことが記憶に残っています。

そのH次長の薦めで平成63年12月に四国支社労働部企画課に転勤、企画課では職能資格制度の運用や給与・サービスの制度関係及び四国全体の人件費策定等に従事しました。

平成2年に中央学園研修企画へ転勤となり1年目は学園で作成した教材を使った通信教育の販路拡大に務め、2年目は全国各地に所在した学園を5研修センタの統合したことから中央学園で東京・関東・信越の新入社員研修を行うこととなり1000人を超える新入社員を一堂に会して学園生活等のオリエンテーションを行ったことやクラス担任を任されたことを懐かしく思い出します。

平成4年4月に四国支社労働部企画課に転勤、企画課では時間外労働の削減施策としてシフト勤務を導入したことを覚えています。

その2年後の平成6年に当時は幕張にロケーションのあったユーザシステム部に転勤、1年半後に新宿のTOC（東京オペラシティ）に移転することになり高層ビルへの入館方法の説明会をしたことや、自殺未遂のあった現場へ行ったこと等を思い出します。

ユーザシステム部では、かつて四国通信局の建設部長や副局長をなされたK部長に大変お世話になりました。

平成9年に四国法人営業本部企画課に異動となり、平成11年の支社廃止まで勤務し東西分社後の法人営業体制について西日本エリア各支社の法人営業の方々と議論したことを覚えています。

そして平成11年の支社廃止に伴い愛媛支店総務部労働担当に配属され、情報流通営業体制（営業窓口の廃止と拠点見直し）や社宅担当をしていたTさんと一緒に借り上げ社宅の解消を大変難しい家主の対応に追われながら行ったこと、平成14年の構造改革（退職再雇用制度の導入や営業系・設備系・共通系会社の設置）に向けた諸準備に取り組みました。

構造改革後は総務・厚生・契約・経理業務をメイン業務とするビジネスアソシエ四国支店の第一総務担当の配属となり、そこで昭和60年の広島への研修来お世話になっていたK部長と初めて仕事をする事になりました。

BA四国ではK部長と一緒に各社の総務・厚生・経理等の受託業務の円滑な運営と新規事業の開拓等による収益の確保に努めました。

平成18年6月でNTTビジネスアソシエ

四国支店を退職し、7月からテルウェル四国支店に採用され人材派遣業務やOCNの家電量販店での受託業務に携わり平成23年3月までK支店長やK部長にお世話になりながら務めることができました。ありがとうございました。

そして平成23年4月から愛媛電友会でK会長やO会長のもとに総会の開催、地域交流会の開催、趣味の作品展の開催、親睦旅行、親睦ゴルフ大会、ボランティア表彰の推薦やサークル活動支援、会員の確保等の事務局業務をBA 四国及びテルウェル四国でお世話になったK四国電友会事務局長の協力を仰ぎながら10年間ご一緒し、令和4年3月末をもって次の方にバトンタッチする予定です。

振り返ること50年になりますが、私が過ごしたこれまでの職場には、いつも支えて下さる方がいて本当に素晴らしい50年だったと思うとともに関係各位に感謝を申し上げます。「ありがとうございました」

#### 矢野 昭和 (松山市 H13年退)

5月で81才になりました。多趣味・多娯楽の病はまだ治まらずにいます。毎週は、先輩達が結成したソフトボールクラブ「電アシニア・マンモス」での地域の人達も加わっての練習。

そして、5年前「県民文化会館開設30周年記念」演奏会での「第九」の合唱にチャレンジし、以来合唱に取りつかれて、市内の合唱団に入って発表会に向け練習もしています。

週4日はジムで「エアロ」や「リトモス」の教室にもチャレンジしています。まだあります。庭の花いじり、大変です。

#### 矢野 孝義 (今治市 H17年退)

若い頃は、八十路のことなど考えたこともなかったが、今その道を歩み始めている。

さて近況として、子から私達のこれからにとって人生を豊かにし、ボケ防止にもなるからと「iPad」をプレゼントしてくれた。

ただ、小生正直この種のことはお粗末でインターネットはしておらず携帯もガラケーと

完全に時代から取り残されている状態であるが、言われるままに心機一転今日までの口スを少しでも取り戻そうと、妻も巻き込み右から左へ抜ける八十の手習いに挑んでおり、やがて子や孫とのビデオ通話や趣味の広がり等々新分野に夢を馳せている。

現在あることに感謝を忘れず、元気に暮らしていきたいと思っています。皆様もお元気で。

#### 山岡 郁夫 (松山市 H3年退)

早くも、退職してから30年、現役43年通信省から電気通信省・電信電話公社と時代の変遷の中で生きてきました。職業も電信通信から電信機械(電報中継交換機・印刷電信機・加入電信機)等の保守・電信機械設計からデータ通信システム構築(バンキングシステム・在庫管理システム)と多種多様な仕事をしてきました。

退職後は、共済会のO A化、電友会の人事管理システムの作成・パソコンの指導等で長い間費やしました。

現在90に手が届くところになりましたが、体の健康第一として卓球に週4日励んでおります。

いつまでも健康でいられるように願っております。



週4日の卓球

### 山下 章夫（徳島市 H13年退）

徳島支店料金課を退職して、早や20年が来ようとしています。この間、健康のためにグラウンドゴルフ等の運動をしていましたが、最近では脳の活性化により、痴呆防止に良いと言われていた（ホンマカイナ？）頭の運動の囲碁に全力を傾けています。

しかし今は、コロナウイルスの影響で、施設の閉鎖もあり家に引きこもっています。早く終息して笑顔で会の皆と囲碁を打ちたいと思っています。

### 山本 重信（松山市 H18年退）

平成18年にコムウェアを退職し15年が経過しました。今は、先代が遺した畑を活用し自然農法、有機農業をしています。家で食べる程度の野菜、果物を作って日々楽しんでいきます。

健康には十分気を付けて定期健診を受け、健康な身体を維持しております。こちらから「健康第一」をモットーに、命ある限りマイペースで百寿を目指していこうと思います。

### 吉岡 隆（松山市 H13年退）



「チョイソコひさえだ」の取材（愛媛朝日放送）

喜寿のお祝いありがとうございました。喜寿は、まだ先のことだと思っていましたので思いがけないことで感謝しております。

NTTを退職し、第2、第3の職場を経て完全フリーとなって好きなことをやろうと思っていたところ、町内会役員にスカウト？され、10年が経ち、町内会役員をいまだに

卒業できません。その後久枝地区町内会連合会や久枝地区まちづくり協議会の会長に選任され、今に至っております。

健康のために地区の世話役を続けるつもりです。現在は乗合タクシー「チョイソコひさえだ」の事業持続に全力を挙げています。

### 吉村 二郎（須崎市 H19年退）

家族は妻と二人、1ターンの長女夫妻、近所に住んでいる長男夫妻と孫と会うのが楽しみな日課です。

退職してから早や10年余り、あっという間に過ぎました。私は時々、薬（血圧まれに痛風）を貰いに病院へ行く以外は大した病気もせずお陰さまで元気に暮らしています。

妻は4～5年前から始めた「多肉植物（サボテンの一種）」に凝り、家中「多肉植物」でいっぱいです。

昨年、NTT現役から続けていたNTT高知「酔釣会」磯釣りクラブを脱会しましたが、年1回の「沖の島一泊磯釣り大会」は楽しい思い出を一杯頂きました。仲間へ感謝します。

体力維持のため、長年続けていたソフトボールも卒業し、現在は町内会の「百歳体操」のお世話をして、早や9年になりますが、これが私の健康法かもしれません。

### 歴史を訪ねて

#### 鷲野 健次（松山市 H20年退）

若い頃から日本の古典と文化に興味を持ち、古事記・日本書紀の足跡を訪ねて旅をした。日向・出雲・大和・熊野等それぞれの地に愛用のカメラをもって遺跡巡りをし、神話の世界に触れることができた。カメラも白黒フィルムからカラーフィルムになり、今ではデジタルカメラとなってスマホにも収容されるなど時代の変遷には隔世の感がある。

最近では、新型コロナウイルスの影響によりあまり人の多いところへは行けませんが、幸いにもこれらの遺跡に人はまばらで車なら安心して行ける。

写真は奈良市富雄付近にある神武天皇聖蹟 鴫邑頭彰碑である。聖蹟の由来は富雄川をはさんで神武天皇と長髓彦が戦った時、金の鴫

が飛んできて皇軍を勝利に導いたことに由来する。熊野の八咫鳥と共に鳥に纏わる記紀の伝説は多い。



神武天皇聖蹟鵺呂頭彰碑

**渡辺 隆司**（今治市 H22年退）

昭和54年1月、大洲電報電話局機械課に特別社員として採用されました。

3年間の特別社員ということで、先輩方々から「3年経ったらどこに行くか分からんぞ。」「いやじゃ、言うたらクビになるんぞ。」とよく冗談めかして言われたものです。その後、今治・松山・長野・徳島・善通寺・高松・大阪と勤務しましたが、先輩、同僚、後輩の皆さんのおかげで幸いクビにもならず40数年間、何とか勤めることができました。

電友会とは父親が電友会会員でしたので名前は知っていましたが、OB・OGの親睦団体だろうという程度のものでした。

関わりは香川支店総務課時代から始まり、松山、大阪でも電友会のN T T側窓口としてお付き合いさせていただきました。その中でも特に思い出深いのは平成18年から19年の松山勤務の時です。当時、N T T西日本の赤字解消で毎日のように経費削減が叫ばれていました。光熱水費、グループ会社への委託費等の削減を社員、グループ各社に無理を言って協力いただいたのですが、まだ削減目標に届かず電友会にまでお願いする事となってしまいました。当時の四国電友会事務局長にし

つこいほど削減協力をお願いをし、結果、2年毎に発行していた会員名簿を3年周期に変更、公職就任状況調査の調査料の削減等々に協力いただいたことを自分がその立場となった今、「よく協力してくれたなあ」との思いとともに、当時の事務局長に対して感謝の気持ちでいっぱいです。

もちろん、楽しいことや嬉しいことも多くあったのもいい思い出です。

最後になりますが、今後も四国電友会発展のため微力ですが頑張っていきたいと思いますので、会員の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

**四国電友会50年の歩み  
創立50周年記念号**

発 行 令和3年10月

編 集 電友会四国地方本部（四国電友会）  
〒790-0001  
松山市一番町4-3  
NTT西日本愛媛支店内  
TEL (089) 936-2023  
FAX (989) 936-3005  
(e-mail) denyukai@trust.ocn.ne.jp

印 刷 南海プリント(株)  
TEL (089) 943-0770

